

大和国吉野郡小路村梅本家文書史料細胞現状記録

解説 吉田伸之

はじめに

ここに紹介するのは、大和国吉野郡小路村（現、奈良県吉野郡下市町小路）の旧家・梅本家旧蔵文書の史料細胞現状記録である。東京大学日本史学研究室では、一九九三年度以来、「近世文書を読む会」において、東京大学法学部法制史資料室が所蔵する未整理史料「大和吉野郡文書」の現状記録調査に着手した。この作業は、現状記録論の方法にのっとり調査を実施する一方で、初心者のための史料解読訓練を同時に行いながら進められた。この未整理文書はいつどのような経緯で同資料室の所蔵に帰したのか詳細は未詳であるが、調査を進める内に、「大和国吉野郡小路村梅本家文書」と呼ぶにふさわしい内容を有することが徐々に明らかとなった。

一九九四年一月一〇日、吉田は奈良県下市町小路を訪れ、梅本両家（本家・分家とも移転し現地に居住していない）や、同本家に隣接す

る浄徳寺などをまわった。そしてこの時併せておじやました下市町教育委員会において、梅本家文書の片われと思われる史料群を発見したのである。こうして、一九九四年一月一―四日、一九九六年二月一五―一八日の二次にわたり、その後見出した浄徳寺所蔵の梅本家関係文書を含め、現地において現状記録調査を実施するに至った。これらの調査の中で多人数により共同で作成した手書きの史料細胞現状記録を本学大学院生海原亮氏が加除・訂正しながらパソコンに入力し、これに若干の修正を加えたものがこの史料細胞現状記録である。

なおここでまだ充分周知のものとはなっていない。史料細胞現状記録なる名称を用いるのは、現状記録というフィールド・ワーク局面に於ける史料調査法によつて作成された史料一点ごと（史料細胞）の現状記録である、という点を特に強調するためである。つまり、館内作業で、一人の研究者により、長時間をかけて文書の内在的な構造を解析しながら精緻に作成される「史料目録」とは異なり、主にフィールド・ワークで、初心者を含む多人数の手で、短時間で史料一点ごと

の現状をとりあえず概略的に記述するものが史料細胞現状記録なのである。こうした点から、史料細胞現状記録は最も素材で初歩的なレベルの目録であり、残存状況にそのまま即した番号順に記述され、また記載内容も無理解等からくる誤記を多く伴うなど、史料目録に比すべくもないものであるということもできる。しかし、かりにそうしたレベルのものではあっても、史料の個々について番号と名称を付与した現状記録の到達点を示すものであり、これによって史料の保存・管理のための基礎条件が整えられると共に、史料検索手段が定置せしめられたことになるのである。もちろんここに収録した史料細胞現状記録は、前述のように海原氏によっていねいなチェックが入っており、その意味では一定の館内作業が付加された第二段階のものであり、「仮目録」等と呼ぶのがよりふさわしいかもしれない。この点はすでに指摘されているように、史料細胞現状記録→仮目録→史料目録という目録の発展(類型) 序列を可変的なものとして捉えることの必要性を明示している。つまり本現状記録は、梅本家文書調査の第一次段階を画し、次のレベルへと移行するための過渡的・中間的な報告ということができるのである。

なお、現状記録論については以下の拙稿を参照されたい。

吉田伸之「現状記録の方法について」『紙魚之友』9、一九九〇年。

——「現状記録論をめぐって」『近世房総地域史研究』東京大学出版会、一九九三年。

——「史料細胞現状記録の方法について」『千葉県地域史料現状記録調査報告書』第一集、千葉県、一九九五年。

一 調査の概要

現在までのところ、梅本家文書は既述のように以下の三つに分かれて残存していることが確認できる。

α 東京大学法学部法制史資料室所蔵分

β 奈良県吉野郡下市町教育委員会所蔵分

γ 下市町浄徳寺所蔵分

αは「標本甲二六九」の文書番号と「大和吉野郡文書」という名称が与えられており、大型のダンボール一箱の中にいくつかの束状になって収蔵されていた。これらの束は史料組織の内、上半分の大きな束をAとし、下部のいくつかの中小の束等をB1～B7として、それぞれ順に番号を付した。

βは、下市町教育委員会に併置されている町立図書館の書庫内片隅に露出したままの状態で収蔵されていた。調査時点では、これらが紙製の収蔵箱三箱(史料単位)に収められていたので、これに甲・乙・丙の記号を付した。

γは、以下の六つの単位からなる。

(い) 朱色の小箱で、箱に「本堂修復工事関係書類」と記されたラベルを付す。

(ろ) 茶色の木箱(二二cm×二六cm×一一cm)。

(は) 黒塗の木箱(二三cm×二四cm×一一cm)。

(に) 銀色のブリキ製の箱(三〇cm×二四cm×七cm)。

(ほ) 露出した状態。

(へ) 「十四日講書類」等とマジックインクで上書きのある紙袋に

入ったもの。これは講中所蔵分の史料であり、「いゝほ」の單位記号とは別に、「十」という記号を付した。

調査はいずれも現状記録の方法によつてすすめた。αについては三五ミリカメラを用い、β・γについては八ミリビデオカメラによつてそれぞれの史料単位・組織の記録作業を撮影した。また史料細胞は中性紙の整理用封筒に入れ、単位・組織ごとに通し番号を付与したうえで、一点ごとに史料細胞の現状を記録した。

これらの史料群の伝来の詳細はまだ充分明らかにできていない。以下、元奈良文化女子短大宮坂敏和氏等からうかがったお話をもとに概略を記しておく。

「梅本両家は小路村において突出した地位にあつた。この内、本家は戦後間もなく浄徳寺を会場として諸道具などと共に相当量の古文書を古紙買業者に売却処分した。当時、この地域で古文書調査をしていた故岸田日出夫氏がこれを知つて、小川勝太郎下市町長（一九五〇年一月～五四年二月）に交渉し、急遽町に買いとらせた。こうして梅本家の文書は消滅をまぬがれたのである。これらは大型の木箱二つに一杯つめこまれ旧図書館に保管されていたが、一九六三年の水害の際に水につかつたためその大半が廃棄され、かろうじて一部残つたものがβである。」

右からはα・γの伝来の事情はわからないが、いずれも戦後における梅本家による処分に伴つて流出し、あるいは譲渡されたものと推定される。従つて、α・γともに梅本家旧蔵文書の一部であつて、その多くは水害等で失われたが、流出した他の片われが今後さらさらに見られる可能性も否定できない。なお、梅本分家に関しては未調査である。

二 小路村と梅本家

梅本家や同家の文書に言及したのは、『大和下市史』（一九五八年刊）に「小路村関係の史料は、最近になつて処分せられたものが多く、在地史料のみでは全般を窺いえないのは遺憾である」等とあるはかみられなかつたが、一九八四年に浄徳寺住職羽山恵亮氏によつて自費出版された冊子『梅元山浄徳寺』において詳述されるに至つた。また、本研究室の調査過程において、海原亮氏による以下の一連の研究報告を得、本格的な研究がとりくまれつつある。

・一九九三年二月一〇日「大和吉野郡文書——史料紹介と論点整理」

・一九九四年五月一九日「大和吉野郡文書について」

・一九九五年二月八日「梅本家文書中の十津川郷関連史料について」

以下、これらを参照しながら、小路村と梅本家に関する概略をごく簡単に記しておく。

小路村は吉野山の西山麓にある小村である。川沿の谷は狭く、両側の山は高いために「一日之中、半日ハ山かけ片陰地罷成、耕地実法り悪敷難洗場」（乙20・1）であつた。同村は近世には吉野山金峯山寺鎮に含まれ、学頭所（実城寺）付とされた。吉野山は朱印高一〇二三石二斗を有したが、その大半は山内にあり、一五九石三斗（元高。内、八九・六六石が田方）を占める小路村は山外唯一の所領であつたのである。



出典：五万分一地形図・和歌山二号（昭和5年11月刊）大日本帝国陸地測量部

図 大和吉野郡小路村とその周辺

その後一六七一（寛文一〇）年の検地で新たに二二八石近くが新高とされ（内、一〇四石余が畑方）、村高は計一七七石三斗ほどとなり、約六割を畑高が占めるに至る。一八〇九（文化五）年当時、村には六〇軒の高持と二三軒の水呑が存在したとされるが（乙611）、日照不足、冷水、猪鹿による食害などのため百姓経営は不安定で、くりかえし他村・他地域からの移住によって村の再生産を維持してきたとみられる（乙711、乙1711など）。こうして村の主産業は農業にあったとみられるが、「割木売買」（B618）や「炭焼」（B2164）などの山稼ぎも重要であったと推定される。

αに数多く含まれる学頭代役所からの触・達は、小路村代官宛に出され、これを同代官が「庄屋・年寄・組頭中」に下達し、請書をとる形式を示すものが多い。これから、小路村の庄屋・年寄クラスの家、あるいは五軒前後の組頭層を村内の有力百姓に想定することが可能となる。そしてここで学頭所実城寺の代官を勤めるのが、村内で圧倒的な地位を有した梅本家にはかならないのである。同家は中世からの由緒を誇り、吉野南朝の下に従った「八旗八莊司」という吉野郡内における有力郷士八家の一つであったとされる。近世初頭の同家一二代正弘のとき、旧御料荘は小路村と改称され、一三代正継のときに梅本氏は学頭領小路村代官に任ぜられ、以後その地位は世襲されるに至る。その後、一七七五（安永四）年に梅本家は本家・分家にわかれ、「兩代官」として共に代官の地位を占めてゆく。また、梅本家は「日光家来分実城寺付地下人」（い11）としての家格を有した。これは学頭所実城寺付の寺侍として、唯一山外にある吉野山地下人の一員であったことを意味し、「小路村郷士」、「小路村地士」（乙1311）等と自称したのである。

梅本家が小路村内において際立った存在たりえた条件の一つに、大乘院の名目金貸付が注目される。これは、梅本家が付属する学頭が興福寺別当の大乘院門跡によって担われていたことによるものであろう。梅本家は大乗院の名目金貸付を吉野郡内において一手に「取次」ぐ地位にあったことが想定でき、こうした金融活動に伴い、近隣諸村に相当量の田畑・山林を集積したものとみられるが詳細については未検討である（乙1511）。

次に梅本家と浄徳寺の関係であるが、これについては前掲『梅元山浄徳寺』からの一節を引用しておきたい。

「源行家の後裔、御料荘司、右衛門佐正善（梅本家第九代）が、本願寺第八代門主蓮如上人の文明七年より文明九年の間の大和巡錫の際、弟子となり得度を受け、法名を善南と賜わった。…善南は…文明一六年入道して屋敷内に一庵を設けて、蓮如上人揮毫の六字名号を安置し、浄徳庵と名づけて念仏の道場とした。」

こうして近世の梅本家は浄徳寺の檀家惣代としての地位を有し、一方では金峯山寺学頭所の代官を勤めるといふ、異なる宗派の寺院との深い関係を維持することになるのである。

〔付記〕

この史料細胞現状記録作成にあたって、以下の方々や諸機関の御協力を得た。

東京大学法学部法制史資料室 石久美子氏、下市町教育委員会 島俊明氏、井片克司氏、浄徳寺羽山良成氏・宮坂敏和氏。

また、下市町での調査参加者は以下のとおりである。

（第一次）猪野研一、海原亮、川勝守生、菊地大樹、斎藤元彦、多和田雅

保、丁英日、ラインハルト・ツエルナー、方美英、藤井由美子、レニアール・ヘスリンク、朴澤直秀、牧原成征、丸山進、山田志乃布、吉田伸之。

(第二次) 猪野研一、今津敏晃、上田純子、海原亮、川勝守生、木村直樹、金炫栄、後藤雅知、斎藤元彦、多和田雅保、方美英、朴澤直秀、牧原成征、丸山進、吉田伸之。

[凡例]

- 1 本史料細胞現状記録は、東京大学日本史学研究室が実施した、大和国吉野郡小路村梅本家文書の現状記録調査のなかで作成されたものである。
- 2 現在までに所蔵が確認できた以下の三カ所ごとに区分して表示してある。
 - I 東京大学法学部法制史資料室所蔵分(七五頁―一二三頁)
 - II 奈良県吉野郡下市町教育委員会所蔵分(一二四頁―一三八頁)
 - III 奈良県吉野郡下市町浄徳寺所蔵分(一三九頁―一四七頁)。なお小路村十四日講中所蔵分についても便宜上ここに包括して示した。
- 3 史料細胞の番号は、「解説」で略記した史料単位・組織ごとに付与してある。この内、一括されていたもの等については、適宜小番号・枝番号を付してある。なお記述の順番は、調査時点での現秩序を尊重してある。
- 4 「表題・柱書^{はしら}」欄は、原則として原文書の表記の通りとし、表題を欠くものについては「」内に形態や内容による「表題」を示した。
- 5 「書き出し・(内容)」欄について。ここでは、原文書の冒頭の書き出し部分を記し、また内容のメモを適宜()内に記入した。
- 6 「作成年代」は(推定)を含む。記述のないものは空欄のままとした。
- 7 「作成↓宛所」欄には、史料の作成者・差出人と、「↓」の下に宛所を記した。
- 8 「形態」欄には、縦(冊)、横(冊)、横半(冊)、状、綴などの概要を記した。また、包紙、ひも、袋など、形態の名称を以て「表題」にあてたものは、形態欄を空欄とした。
- 9 判読不能の部分は「」で、また推定部分は(カ)で示した。

I 東京大学法学部法制史資料室所蔵分

単位	組織番号	表題・柱書き	書き出し(内容)	年代	作成・宛所	形態	数量
A	一四一五	〔請取書〕	(米拾八石之上納銀請取書)	明和 一年二月二八日	学頭代吉水院↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一四一四	〔包紙〕	請取書		学頭代吉水院↓小路代官梅本与一右衛門	状	一
A	一四一三	覚	(米納之内五石代銀請取書)	申 一月	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門		一
A	一四一二	〔包紙〕					一
A	一四一一	〔申達〕	畑方 取米三十四石:(屋敷取米引方に付き)	未 二月二八日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一四一〇	〔申達〕	毎度申達候:(畑方免割之儀に付き)	未 二月二八日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一四〇九	〔包紙〕					一
A	一四〇八	〔白紙〕				状	一
A	一四〇七	〔申達〕	当未御年貢直段:(年貢銀定・上納銀預置之儀に付き)	未 二月二日	学頭代(吉水院)↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一四〇六	即答	其他之儀に付き)	五月 九日	柳原加治馬↓梅本与一右衛門	状	一
A	一四〇五	覚	(銀五百匁受取に付き)	未 二月二八日	吉水院役人↓小路村梅本与一右衛門	状	一
A	一四〇四	〔書簡〕	御紙面被下致拝見候:(谷伝治殿儀并御上納銀之儀に付き)	一月 六日	柳原加治馬↓梅本与市右衛門	状	一
A	一四〇三	〔包紙〕			吉水院内柳原加治馬↓小路村梅本与一右衛門		一
A	一四〇二	〔書簡〕	学頭所蔵附之節:(今年之米納二十石に致度事)	二月 二日	柳原加治馬↓梅本与一右衛門	状	一
A	一四〇一	差昏	近年学頭所米納:(米納二十石之内五石銀納申渡)	未 二月二日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門・同庄屋・年寄	状	一
A	一三	〔申達〕	鳴物停止 於江戸 刑部御様:(刑部御逝去に付き)	閏二月 二日	学頭代吉水院↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一	〔厚紙〕					一

A	一一二一三	〔触書〕	今度東海道舞坂新居：(困窮に付き馬船賃増銭之事)	巳一九月		苗丹下	状	一
A	一一二二二	〔申達〕	別紙御触書高取役所：(村方へ相触旨)	一〇月一九日		飯学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一二二一	〔包紙〕	触書			飯学頭代役所↓小路村兩代官		一
A	一一二〇	覚	一、右之者共平日家業：(領内の者不埒に付き吟味の事)	子一 一月三日		学頭代喜藏院↓小路村代官梅本与一右衛門・同年寄利兵衛	状	一
A	一一一九	〔包紙〕		十一月一日		学頭所役人↓小路村兩代官	状	一
A	一一一八	〔書簡〕	芳札致披閱候：(蔵米納延引の事)					
A	一一一七	〔申達〕	今度松平周防守：(石州浜田無宿八右衛門竹島渡海に付き)	丙一 三月三日		学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一一六	〔白紙〕					状	五
A	一一一五	〔包紙〕				吉野山学頭代役所↓小路村庄屋・年寄衛門		一
A	一一一四	〔申達〕	南都從 御番所様：	子一 三月三日		竹内奎「」・福角左一↓梅元与市右衛門	状	一
A	一一一三	〔廻状写〕	去月廿八日：(年号改元・秤改の事)	延享 一年 三月二日		学頭代役所↓庄屋年寄与一右衛門	状	一
A	一一一二	〔申達〕	此度公儀御誕生之御男子様：(松平菊千代誕生に付き「きく」名改の事)	弘化 三年一〇月二日		学頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一一一	〔包紙〕				↓小路村へ		一
A	一一一〇	〔申達〕	此度公儀御誕生之：(松平直七郎誕生に付き「なお」字改の事)	己卯一 七月一六日			状	一
A	一一〇九	〔触書包紙〕						一
A	一一〇八	覚	一、預ケ米之内新米：(預米入用に付き御登せの事)	九月二六日		学頭所役人↓小路村代官・庄屋	状	一
A	一一〇七	〔包紙〕				学頭所役人↓小路村代官・庄屋		一
A	一一〇六	〔包装紙他〕						一
A	一一〇五	〔包装紙〕	(池袋キンカ堂)					一
A	一一〇四	〔包紙〕	書付					一
A	一一〇一七	〔申達〕	当申御年貢直段：(直段并畑方式分引相定に付き)	申 閏二月二日		学頭代↓梅本与一右衛門	状	一

A	一四二	[申達]	学頭権僧今十三日：(御登山に付き入足差し出しの事)	九月二三日	学頭代↓小路村梅本内蔵助	状	—
A	一四一	[申達]	例年之通村方宗旨改：(帳面差し出しの事)	八月二日	学頭代他行二付吉祥院↓小路村代官梅本与一右衛門	状	—
A	一四〇一	[書簡]	別紙之通高取：(掛合手紙かし遣に付き)	二月二日	御所町たれ↓小路村兩代官所	状	—
A	一四〇一	済届口上書	小路村伊三郎妹儀：(不奉公に付き呼出)	八月二七日	住心院・真覚院↓	状	—
A	一三九	[申達]	歓喜心(カ)院官様：(罷去に付き廻文)	五月二七日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一三八	[申達]	徳川民部卿様：(御逝去に付き鳴物停止)	五月二七日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一三七	当暮取納直段		巳二月二日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一三六	[申達]	別紙之趣：	二月三日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一三五	[申達]	此度御誕生之姫君様：(御誕生に付き鋪のぶ字禁止の事)	三月二四日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一三四	[申達]	近頃大判金相場：(高値に付き貯蓄禁止の事)	丙申六月		状	—
A	一三三	[申達]	此度東海道：(人馬賃割増額)	巳七月		状	—
A	一三二	[包紙]	御触書		代学頭代役所↓小路村		—
A	一三一	[包紙]			西嶋源左衛門・村田丈四郎↓宝蔵院		—
A	一三〇一	口上	(高取 書付落手に付き)	二月二八日	吉野山役所↓	状	—
A	一三〇一	[申達]	書付類致拜見候：(伊三郎出願一件に付き)	二月二八日	学頭代代成就院↓小路村兩代官	状	—
A	一二九	公儀御触書之写	(出家人別に付き)	戊四月二日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	—
A	一二八	[付箋]		昭和三年	右衛門・同年寄権兵衛・同組頭中	状	—
A	一二七	覚	其村古未進：(村古未進村弁之儀差延候に付き)	一月二七日	学頭代喜蔵院御役所↓小路村代官梅本与一右衛門・同年寄権兵衛・同組頭中	状	—
A	一二六	[包紙]	書付			状	—
A	一二五	[申達]	学頭職先達而：(学頭職仰出候儀に付き)	寅五月三日	学頭代↓小路村代官中	状	—
A	一二五	[包紙]			↓小路村代官中	状	—
A	一二四	[申達]	此度世上通用：(南鐙老朱銀通用触の事)	七月二九日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一二三	[包紙]	触書			状	—
A	一二二	覚	一、玄米四斗：(去子年米納残分納めの事)	七月二九日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—

A	一一六四	〔申達〕	〔申達〕	〔古金引替方之儀に付き〕	子二月三日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一六三	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	戌一月二日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一六一	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	寅九月九日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一六〇	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	嘉永六年七月二九日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一五八	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	子二月三日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一五七	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	三月二八日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一五六	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	三月二七日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一五五	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	四月三日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一五四	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	卯八月二〇日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一五三	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	卯八月二〇日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一五二	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	丑九月一〇日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一五一	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	丑九月五日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一五〇	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	丑九月五日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一四九	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	辰二月二〇日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一四八	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	辰二月二〇日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一四七	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	辰二月二日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一四六	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	宝曆八年一月		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一四五	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	八月二八日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一四四	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	九月一〇日		頭利兵衛ほか四名	状	一
A	一一四三	〔請書〕	〔請書〕	〔古金引替方之儀に付き〕	九月一〇日		頭利兵衛ほか四名	状	一

A	一一八七	[申達]	文政度之…(古金銀引替公儀触に付き)	天保一三年一〇月一八日	学頭代役所	状	—
A	一一八六	[包紙]			衛門・同年寄利兵衛		—
A	一一八五	[申達]	恒例之通…(宗旨改め提出および年寄任命の事)	戌一八月二四日	吉野山学頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門・同年寄利兵衛	状	—
A	一一八四	[申達]	一、今度御学頭…(御供下命)	戌一八月二四日	学頭代喜藏院↓小路村代官梅本与一右衛門	状	—
A	一一八三	[申達]	(学頭名代差向および宗門改めに付き)	九月一四日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一一八二	[包紙]	触書				—
A	一一八一	[包紙]	御触書				—
A	一一八〇	[触]	此度公儀御誕生之姫君様…(姫誕生に付き名前改めの事)	一月一日	学頭代役所↓小路村代官	状	—
A	一一七九	[触および請書]	来ル八日清明院様廿一回御忌…(鳴物停止)	寅一九月六日	学頭代↓小路村代官中	状	—
A	一一七八	[包紙]	急用御触書学頭代				—
A	一一七七	[包紙]	触書				—
A	一一七六	当暮取納直段	右之通相定候間…	酉一二月二日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一一七五	[触および請書]	此度民之助様御事…(入相書)	文政六年一月二七日	学頭代↓小路村代官梅本一学・丹下	状	—
A	一一七四	[包紙]	小路村兩代官庄屋共				—
A	一一七三	[触]	当山学頭山門恵心院…(前大僧正・正覺院転住に付き)	丑一〇月二四日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一一七二	[包紙]	触書				—
A	一一七一	[請書]	別格之通從吉野山…	丑一八月三日	組頭四名・年寄一名・庄屋一名↓御代官所	状	—
A	一一七〇	[包紙]	御触書 学頭代				—
A	一一六九	[触および請書]	此度世上通用…(宥失判通用に付き)	文政七年七月二九日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一一六八	[触]	文姫様御逝去…(鳴物停止)	酉一四月一日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一一六七	[触および請書]	当六月廿七日…(入相書・東海道人馬質錢の儀に付き)	未一二月	学頭代↓代官・庄屋・年寄	状	—
A	一一六六	[触および請書]	昨十五日限仙洞御所…(門松注連無用の事)	戌一一月六日	仮学頭代↓梅本一学・丹下	状	—
A	一一六五	[申達]	右諸伽藍大破…(修復勅化触并鳴物停止触申し渡し)	六月一日	仮学頭代役所↓小路村代官梅本一学・同断梅本丹下	状	—

A	一一〇七	覚	一、白銀式両…(宮様への献上物に付き)	文化 六年二月二七日	小路村郷土梅本丹下・与一右衛門↓御学頭 代様御役所	状	—
A	一一〇六	[申達]	去丑御年貢銀納…(皆済督促)	寅一月八日	学頭代喜藏院↓小路村組頭中	状	—
A	一一〇五	公儀御触書之写	右宝生寺諸堂社大破二付(再建勸化の事)	七月八日	覚王院・伝解院↓	状	—
A	一一〇四	[申達]	別紙之趣其村方一統…(触への添書)	四月一日	学頭代役所↓小路村両代官	状	—
A	一一〇三	[触]	田安一位様御逝去…(鳴物停止)	戊申六月二六日	学頭代役所↓	状	—
A	一一〇二	申渡	一、一昨日触書差遣候…(年末すす私に付き)	酉十二月二七日	仮学頭代↓梅本一学・丹下	状	—
A	一一〇一	[触]	此度公儀御誕生之…(男子出生に付き改名の事)	三月四日	代学頭代役所↓小路村両代官	状	—
A	一一〇〇	[申達]	別紙之通り従公儀…(触への添書)	丑十二月二六日	学頭代役所↓小路村両代官	状	—
A	一一九九	[申達]	学頭代并吉水院…(死去の際鳴物停止先例の事)	文政二年二月二日	仮学頭代役所↓小路村両代官	状	—
A	一一九八	差紙	御用之儀有之候間…(組内惣代年寄召出の事)	七月五日	学頭代役所↓小路村両代官	状	—
A	一一九七	[触]	一橋中納言様…(刑部卿様逝去に付き鳴物停止)	丑四月二七日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	—
A	一一九六	[触]	姫君様千恵姫…(出生に付き改名)	八月	学頭代役所↓小路村両代官	状	—
A	一一九五	当暮収納直段	(采代・畑方引定)	午二月一日	学頭代役所↓小路村両代官	状	—
A	一一九四	[書簡]	御切紙致拝見候…(病氣見舞に對する御札)	花月一日	成就院役人↓梅本一学・同房之丞 苗采女	状	—
A	一一九三	当暮収納直段	(采代・畑方引定)	未二月一日	仮学頭代↓小路村代官梅本与市右衛門・同	状	—
A	一一九二	[触]	古金銀志(カ)字式分割…(停止引替方の儀に付き)	癸丑二月二五日	学頭代役所↓小路村両代官	状	—
A	一一九一	[触]	古金銀志(カ)字式分割…(停止引替方の儀に付き)	辰二月二八日	学頭代役所↓小路村両代官	状	—
A	一一九〇	[触]	当二月十九日不容易…(大塩平八郎に加担致候者共人相書)	酉三月	学頭代役所↓小路村両代官	状	—
A	一一八九	[申達]	植村駿河守殿御預所…(嫡子へ引渡に付き)	文政二年一月三日	学頭代役所↓小路村両代官	状	—
A	一一八八	[触]	諸国酒造之儀…(三分一造廠重改の事)	丙申二月	学頭代役所↓小路村両代官	状	—

A	一一二八	[包紙]	御触書学頭代 小路村兩代官																	
A	一一二七	[触]	諸国川々連々押埋り水行：(普請に付き公儀触)	文政 七年一〇月三日	学頭代↓小路村兩代官	状														
A	一一二六	[包紙]	書附 梅本与一右衛門																	
A	一一二五	[申達]	当子年七年目人別：(村方人数相改帳面差出の事)	三月 八日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状														
A	一一二四	[触]	紀州熊野本宮十二宮其他：(焼失再建勸化に付き)	六月 四日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状														
A	一一二三	[包紙]	御触書 小路村																	
A	一一二二	御触書写	吉野山從御役所 (公儀御誕生に付き改名の事)	未 四月一六日	庄屋組頭兼帯利兵衛・年寄組頭兼帯太平次・組頭善次ほか二名	状														
A	一一二一	[触]	野菜もの季節：(季節外れもの売買仕間敷候事)	壬寅 五月 七日		状														
A	一一二〇	[触]	来ル晦日 文察院様：(一周忌鳴物停止)	寅 一月二六日		状														
A	一一一九	[包紙]	差紙		学頭代役所↓小路村庄屋与一右衛門	状														
A	一一一八	[申達]	先達申渡候：(入別改帳面差出の事)	子 五月二八日	学頭代役所↓小路村与一右衛門	状														
A	一一一七	[申達]	一、小路村之義：(百姓困窮に付き謙約申付の事)	七月一〇日	飯学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門・年寄同丹下・組頭共	状														
A	一一一六	[包紙]				状														
A	一一一五	[申達]	当戌御年貢直段：(壹分引定の事)	二月一日	学頭代↓代官梅本与一右衛門	状														
A	一一一四	[触]	当十月朔日晝下絵圖：(殺害人人相書)	亥 十二月		状														
A	一一一三	[包紙]	御触書			状														
A	一一一二	[申達]	一、当幕七年目：(村方人数相改の事)	二月四日	代学頭代↓小路村兩代官	状														
A	一一一一	覚	代学頭代東南院：(検見先触)	辰 九月 五日	吉野山代学頭代東南院役所↓小路村兩代官 共	状														
A	一一一〇	[包紙]	検見先触	八日	吉野山代学頭代役人															
A	一一〇九	[触および請書]	一、政之助様御事：(若君称に付き改名の事)	乙酉 五月一九日	学頭代↓小路村兩代官	状・包紙あり														
A	一一〇八	[触]	右本堂方丈向焼失：(浅草播隨院再建勸化の事)	巳 二月 九日	学頭代役所↓小路村兩代官	状														

A	一一四九	[申達]	別紙御停止之儀被 仰出…	亥一三月五日	代学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一四八	[触および請書]	去六日 重上…(崩御に付き鳴物停止)	弘化三年二月三日	代官所↓庄屋・年寄・組頭中	状	一
A	一一四七	[触]	去六日 重上…(崩御に付き鳴物停止)	午一二月三日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一四六	[申達]	普請鳴物音曲殺生停止…	辰一二月二四日	学頭代役所↓小路村代官	状	一
A	一一四五	申渡	一、先納銀之儀於当山…(五人組改之儀に付き)	文化九年六月二八日	仮学頭代役所↓小路村兩代官・庄屋・年寄	状	一
A	一一四四	[包紙]	触書	文化一〇年二月二一日	仮学頭代↓小路村	状	一
A	一一四三	[触]	当暮御年貢直段…(相定に付き)		仮学頭代↓小路村代官梅本一学・梅本丹下	状	一
A	一一四二	[申達]	例年之通宗門改帳面…(御登山の儀・先納銀等に付き)	九月二日	仮学頭代役所↓小路村代官梅本一学・梅本丹下	状	一
A	一一四一	[申達]	別紙之通…(高取表よりの触に付)	八月二九日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一四〇	[請書]	徳川昌丸様被成御逝去…(鳴物停止)	子一九月一日	組頭利兵衛他四名・年寄伊右衛門・庄屋治右衛門↓御代官所	状	一
A	一一三九	[触および請書]	友松様去ル二日被遊…(御逝去に付き鳴物停止)	六月二四日	仮学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一三八	[申達]	別紙御書付之…(高取役所よりの触に付)	丑一七月七日	学頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一三七	[申達]	別紙御書付之…(高取役所よりの触に付)	未一六月二一日	代学頭代↓小路村梅本与一右衛門	状	一
A	一一三六	[申達]	切紙を以致啓上…(御国絵図改之儀に付き)	二月四日	学頭代役人↓小路村兩代官	状	一
A	一一三六	一 覚	一、此度大坂市中…(大塚の乱関与者人相書)	二月三日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一三五	当暮取納方	(田畑免引・石代直段定)	巳一二月二日	学頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一三四	当暮上納直段	(田畑免引・石代直段定)	文化六年二月	梅本丹下 仮学頭代役所↓小路村代官梅本一学・同断	状	一
A	一一三三	[包紙]	小路村 学頭代		仮学頭代役所↓小路村兩代官		一
A	一一三二	[申達]	当卯御年貢…(直段若石に付き代銀拾九匁定)	二月二日	学頭代↓小路村梅本与一右衛門	状	一
A	一一三〇	[包紙]	触書 小路村				一
A	一一二九	[触]	此度 御男子様…(松平長吉郎命名に付き改名の事)	子一九月二五日	仮学頭代役所↓小路村兩代官	状	一

A	一一七四	御請書	一、信州水内郡…(人相書并東海道人馬貫 錢御触之趣承知の事)	申一二月六日	小路村両代官↓御学頭代様御役所	状	一
A	一一七三	[包紙]			学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一七二	[申達]	年号改元并拜改…(触書の添状)	三月二日	学頭代役所↓庄屋与一右衛門・年寄権兵衛	状	一
A	一一七一	[触]	此度御誕生之姫君様…(名前に付き)	甲辰一九月三日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	一一七〇	[触および請書]	此度東海道岡部宿外…	酉一〇月二〇日	学頭代↓吉野郡小路村梅本与一右衛門・梅 本丹下	状・包紙あり	一
A	一一六九	[廻状]	弥御安康二被成御座…(御案内状)	九月三日	日光御支配代官↓瀧上寺・立興寺・寂静寺	状	一
A	一一六八	[包紙]	触書			状	一
A	一一六七	[申達]	別紙両通之趣…	子一二月五日	坂学頭代役所持福院↓小路村両代官	状	一
A	一一六六	[触]	天保之度世上通用之ため…	甲寅一閏七月五日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	一一六五	[触]	摂州 多田院…(大破に付き勸化の事)	戌一二月	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	一一六四	[触]	鴻巣 勝願寺…(大破に付き勸化の事)	巳一九月二七日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	一一六三	覚	御台様被…(薨去に付き鳴物停止)	子一二月九日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	一一六二	[触]	鳴物音曲殺生停止…	二月七日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	一一六一	当暮収納直段		辰一二月一日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	一一六〇	[触]	此度日光 御社…(村方諸事慎みの事)	天保一四年 四月一日	学頭代役所	状	一
A	一一五九	[触および請書]	此度山門恵心院権僧正…(学頭職就任に付 き)	寅一四月	学頭代↓小路村両代官中	状	一
A	一一五八	[触および請書]	別紙之通被 仰出候…	六月二七日	両代官↓庄屋・年寄・組頭中	状	一
A	一一五七	[包紙]	仮学頭代			状	一
A	一一五六	[触]	女院六月廿日…(崩御に付き鳴物停止)	弘化 三年 八月 四日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	一一五五	[包紙]	触書			状	一
A	一一五四	[触]	当八月人相書ヲ以…(御尋人召捕に付き 事)	巳一二月三日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	一一五三	[触]	上様御事 将軍…(家定襲名に付き改名の 事)	嘉永 六年 二月 二日		状	一
A	一一五二	当暮収納直段		寅一二月一日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	一一五一	[包紙]	御触書 一通		梅本与一右衛門	状	一
A	一一五〇	覚	学頭代 御触書…(二通差送りに付き)	亥一三月五日	吉野山青木楠右衛門↓小路村御役人中	状	一

A	一一一九六	〔触および請書〕	出家社人等町屋借宅…(公儀触および添状)	天保二三年七月二十九日	学頭代役所↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
A	一一一九五	〔触および請書〕	鳴物停止 従 公儀被 仰出候…(准后様逝去に付き)	未 四月三日	学頭代役所↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
A	一一一九四	〔触および請書〕	一、去之巳九月九日夜…(殺害人御尋触および添状)	文政七年一月二五日	吉野山学頭代↓小路村兩代官	状	一
A	一一一九三	〔包紙〕	書付				一
A	一一一九二	〔触〕	此度人別御改二付…(五人組帳差出の事)	三月二日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一一九一	差紙	御用之儀有之…(高取役所へ罷出事)	二月五日	金峰山寺代学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一九〇	〔包紙〕	差紙				一
A	一一一八九	〔請書〕	別紙四通吉野山…(御触の請状)	天保二三年七月二十九日	庄屋組頭兼帯右衛門・年寄組頭兼帯利兵衛・組頭五人↓御代官所	状	一
A	一一一八八	〔触〕	当十一月三日晝…(養母殺害犯太四郎人相書)	丑十一月二日		状	一
A	一一一八七	〔触〕	松平伊豆守様御卒去…(鳴物停止)	文化二四年九月九日	学頭代↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
A	一一一八六	〔包紙〕			小路村兩代官		一
A	一一一八五	〔申達〕	当廿八日高取御預御役所…(吉野山町役人・小路村役人に申渡の儀に付き出頭命令)	巳十一月二八日	学頭代役所↓小路村兩代官梅本与一右衛門・同苗丹下	状	一
A	一一一八四	〔触〕	一橋儀同様薙去…(鳴物停止)	文政二〇年三月四日	学頭代役所↓小路村兩代官中	状・包紙あり	一
A	一一一八三	〔触〕	当正月十八日夜…(殺人犯人相書)	巳九月	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一一八二	〔触および請書〕	式部卿様被成御逝去…(鳴物停止)	文政二〇年六月二日	代学頭代↓小路村兩代官	状	一
A	一一一八一	〔申達〕	当亥御年貢直段…(田方免引に付き)	二月二日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一一八〇	当暮取納直段		西十一月二日	学頭代↓庄司村兩代官	状	一
A	一一一七九	〔包紙〕	学頭代				一
A	一一一七八	〔触および請書〕	去月廿二日…(姫君様御逝去に付き鳴物停止)	文政四年九月四日	吉野山学頭代↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
A	一一一七七	〔包紙〕	上				一
A	一一一七六	〔申達〕	別紙之通従 公儀…(触への添状)	二月七日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一一七五	口上	益々御機嫌…(人相書名前書違いに付き詫状)	二月六日	小路村兩代官↓御学頭代様御役所	状	一

A	一一二八	[包紙]				吉野山学頭代↓小路村		一
A	一一二七	[申達]	此間登山有之候…毛見之儀に付き久保源左衛門方へ登山の事)	嘉永四年三月一七日	一月二日	学頭代↓小路村兩代官	状	一
A	一一二六	[触]	去ル戊七月十八日…(人相書御触并添状)	三月一七日		代官所↓庄屋・年寄・組頭共江	状	一
A	一一二五	[請書]	別紙兩通之通…(御触請状)	三月一十九日		学頭代内楠田右近↓小路村梅本一学・梅本丹下	状	一
A	一一二四	[包紙]				吉野山学頭代内楠田右近↓小路村梅本一学・梅本丹下	状	一
A	一一二三	[申達]	以切紙致啓上候…(村方拝借銀上納の儀に付き)	六月二七日		喜藏院役人↓小路村庄屋	状	一
A	一一二二	[触]	浪人跡のもの村々を…	申一六月		代官所↓庄屋・年寄・組頭中	状	一
A	一一二一	[申達]	其村…(御用有之に付き差紙)	一月三日		学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一二〇	[申達]	別紙之趣御支配…(触書添状)	丑一二月		代学頭代↓梅本与一右衛門	状	一
A	一一〇九	[包紙]	差紙			学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一〇八	[申達]	一位様薨去…(慎方之儀に付き御触)	辰一二月三日		学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一〇七	[包紙]				代学頭代↓梅本与一右衛門	状	一
A	一一〇六	[申達]	願人九八郎 相手庄九郎(地資米滞銀に付)	八月 六日	文化一〇年 閏一月一八日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一〇五	[触および請書]	去ル三日 仙洞崩御…(鳴物停止)			学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一〇四	[触]	公儀触六通并添状)			学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一〇三	召紙	御用有之候間…			学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一〇二	[依頼書]	近來五畿内…(自国他国物産売買禁令ほか公儀触六通并添状)			学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一〇一	[触および請書]	虎千代様…(御逝去に付き鳴物停止)			阿知賀村々役人↓小路村御役人中	状	一
A	一一〇〇	[包紙]	小路村利兵衛、清次郎…(年貢納入の儀に付き)			学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一九九	[請書]	別紙之通從吉野山到來…			学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一九八	[触]	紀伊一位様…(御逝去に付き鳴物停止)			治右衛門↓御代官所様	状	一
A	一一九七	[触および請書]	土井大炊頭様御卒去…(鳴物停止)			組頭伊右衛門ほか三名・年寄利兵衛・庄屋	状	一
A	一一九七	[触および請書]	文政五年七月二日			吉野山学頭代↓小路村兩代官	状・包紙あり	一

A	一一四四	〔触および請書〕	去々丑十一月新吉原京町：(入相書)	文政二年五月六日	吉野山学頭代↓小路村兩代官	状・包紙あり	—
A	一一四三	〔触〕	古金銀真字式歩判：	巳十二月七日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一一四二	〔申達〕	従山門再檢分：(人足の事)	七月四日	学頭代↓小路村兩代官	状	—
A	一一四一	〔申達〕	別紙之通：	七月九日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一一四〇	〔触〕	石灯笼石手水鉢：(高価のもの製造禁止)	天保三年八月二日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一一三九	〔触および請書〕	天台宗二而：(御仕置の者住職不相成事)	西一〇月二四日	下 仮学頭代↓吉野郡小路村梅本一学・梅本丹	状・包紙あり	—
A	一一三八	〔包紙〕	触書		代学頭代		—
A	一一三七	〔触〕	去ル八日 徳川大藏卿様：(鳴物停止)	午九月		状	—
A	一一三六	〔申達〕	別紙之通高取役所 御停止：	午九月二八日	代学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	—
A	一一三五	〔包紙〕	触書	丑十二月二日	小路村 学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	一一三四	当番取納直段					—
A	一一三三	〔包紙〕	触書				—
A	一一三二	〔申達〕	当山学頭代黒衣二而者：	午十二月二四日	役者↓小路村代官梅本与一右衛門	状	—
A	一一三一	触書	当山学頭職之儀 公儀：	文政五年三月	小路村 学頭代役所↓小路村代官	竖	—
A	一一三〇	〔申達〕	拙院義学頭代役義退役：	五月九日		状	—
A	一一二九	〔触〕	先達而於在方御役所役人：(徘徊のものに付き)	卯十二月三日	豊前↓吉野郡村々庄屋・年寄	状	—
A	一一二八	覚	別紙之通：(学頭所取納の升目に付き)	寅十一月一日	代官所↓右名前之もの江	状	—
A	一一二七	〔包紙〕	触書	戌三月	学頭代↓	状	—
A	一一二六	〔申達〕	伊勢参宮其外送迎：				—
A	一一二五	〔触および請書〕	総姫若様：(逝去に付き鳴物停止)	寛政九年五月七日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状・包紙あり	—
A	一一二四	差紙	御用之儀有之候間：	六月二八日	学頭代役所↓小路村梅本一学	状	—
A	一一二三	〔包紙〕	触書写				—
A	一一三二	覚	一、古市役所：(踏船石鏡賦課の旨ほか)	子四月二八日	学頭代持福院↓梅本与市右衛門	状	—
A	一一三一	〔触〕	大坂岡川口年々あさく：(川浚いに付き)	子四月二日		状	—
A	一一三〇	〔書簡〕	態と申入候：(御願有之に付き乞登山)	二月九日	喜藏院様内教順↓梅本与一右衛門	状	—
A	一一二九	〔触〕	此度東海道小田原：(人馬賃銭割増の儀に付き)	戌一月二〇日	仮学頭代↓小路村代官	状	—

A	一一二六七	[申達]	一筆致啓上候…(公儀からの触に付き)	八月一七日	安並左仰↓勝光院	折紙	一
A	一一二六六	[申達]	被申達候儀…	七月二六日	羽田喜藤太↓吉野山勝光院	状	一
A	一一二六五	[触]	諸寺社神事仏事開帳等…(葵紋附に付き)	(明和 五年)七月		状	一
A	一一二六四	[触]	此度 公儀御誕生…(永の字、なが読み禁止の事)	二月一七日	仮学頭代↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
A	一一二六三	[包紙]	触書一通	八月 八日		状	一
A	一一二六二	[申達]	明九日 御目見被 仰付…			状	一
A	一一二六一	[申達]	金峰山寺院吉野山…(申渡有之ニ付き高取役所へ)	二月 八日	代学頭代役所↓小路村梅本与一右衛門ほか一名	状	一
A	一一二六〇	[申達]	例年之通宗門御改…	亥一 九月 二日	代学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一二五九	[申達]	此度御停止候之内…(大工鍛冶等遠慮に不及事)	九月二八日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一二五八	[包紙]	御触書	亥一 三月 四日		状	一
A	一一二五七	[触]	於江府 大納言様御不例…(鳴物停止)		北山組村々	状	一
A	一一二五六	[触]	山城大和近江丹波之内…(無本寺の寺院など触改)		越前・信濃↓大和国吉野郡阿知賀・飯貝・	状	一
A	一一二五五	[包紙]	御触書		代学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一二五四	[申達]	東叡山 御廻章…	二月 七日	代学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	一一二五三	当暮御年貢	(直段定書)	戌一 二月 二日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一二五二	[包紙]	本文之御触書七通…	卯一 六月 三日	代官所↓庄屋・年寄・組頭中	状	一
A	一一二五一	[申達]	先達而申達候…(日光新門様御下向に付き)	辰一 一月 六日	楞伽院・覚王院↓多武峰妙楽寺・吉野金峰山寺・高取宗泉寺	状	一
A	一一二四九	[包紙]	触書			状	一
A	一一二四八	[申達]	去ル子年山城国京桂姫…(安産痘瘡守に付き)	亥一 四月 二四日	学頭代役所↓小路村代官梅本内記	状	一
A	一一二四七	[印鑑札]	先達而御ケ篠ヲ以申渡し…	二月 三日	代官所↓庄屋・年寄・組頭中江	状	一
A	一一二四五	[触]	町中者勿論國々在町共…(家作の事)	天保一 四年 六月 二日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一

A	一一九三	[包紙]	差紙							
A	一一九二	差紙	(新蔵ほか召連出頭の事)		二月二日	両代官所↓庄屋・年寄	状			
A	一一九一	[包紙]	御触書		文政二年二月					
A	一一九〇	[触]	唐物技術之儀…(密売買取締に付き)		壬子十一月二五日		状			
A	一一八九	[触]	古金銀真字式分別…(引替に付き)		天保二年一月		状			
A	一一八八	[申達]	南都御奉行…(巡見に付き)		三月一〇日	代学頭代役所↓小路村梅本与一右衛門	状			
A	一一八七	御触書	此度 若君様御名 家祥…(改名につき触)		丁亥十二月十九日	学頭代↓小路村兩代官	状			
A	一一八六	[包紙]				学頭代役所↓小路村兩代官	状			
A	一一八五	当巻収納直段			午十二月一日	假学頭代役所↓小路村兩代官・庄屋・年寄	状			
A	一一八四	[触]	此度於西丸御誕生…(嘉の字、よし読み禁止の事)		一月六日	代学頭代役所↓小路村兩代官	状・包紙あり			
A	一一八三	差紙	(七蔵等召連出頭すべき事)		七月二日	学頭代役所↓代官梅本与一右衛門	状			
A	一一八二	[触]	金箔并下金類…(売買取締に付き)		西十一月二〇日		状			
A	一一八一	[触および請書]	来ル晦日 文恭院様御三回忌…(鳴物停止)		卯一月二六日	代官所↓庄屋・年寄・組頭中	状			
A	一一八〇	[包紙]	御触書		二月二日	代学頭代↓梅本与一右衛門	状			
A	一一七八	[包紙]	於京都 禁裏崩御…(鳴物停止)							
A	一一七七	[触]	今度御誕生之 御男子様…(松の字、まっ読み禁止の事)		二月三日	学頭代↓小路村兩代官	状			
A	一一七六	[包紙]	御触書				状			
A	一一七五	[申達]	別紙阿通吉野山徒役所…		寅七月二五日	代官所↓庄屋・年寄・組頭中	状			
A	一一七四	[触]	出雲国大社造營…(勸化触)		巳四月二四日	学頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門	状			
A	一一七三	[申達]	例年之通宗門御改帳…		巳九月二日	代学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状			
A	一一七二	[包紙]	御触書				状			
A	一一七一	[申達]	假学頭代真珠院…(役儀交代に付き)		八月九日	学頭代役所↓小路村兩代官	状			
A	一一七〇	[包紙]			明和五年	安並左仲↓勝光院				
A	一一六九	[包紙]			明和五年七月	山勝光院				
A	一一六八	[申達]	五匁銀之儀…(通用に付き)		七月	当郡御役所羽田喜藤太↓吉野山学頭代吉野	状			

A	一一三二七	[申達]	業の者不吉候事	先達而相触候…(鳴物停止触、鳴物音曲稼	嘉永六年九月一八日	状	—
A	一一三二六	[触]	世上通用金…(金銀吹替等の触三通)	触書	丁酉八月八日	状	—
A	一一三二五	[包紙]					
A	一一三二四	[申達]	虚無僧共修行之鉢…(取締に付き)	当山学頭山門惠心院…(学頭転住に付き)	申二月三日	状	—
A	一一三二三	[触]					
A	一一三二二	[包紙]					
A	一一三一	[申達]	尾張中納言様…(御逝去に付き鳴物停止)	学頭代役所↓小路村両代官	五月十九日	状	—
A	一一三〇	[触]	百姓之儀者龜服を着し…(奢侈余業禁止に付き)	天保三年九月		状	—
A	一一三〇九	[包紙]		学頭代↓小路村			
A	一一三〇八	[申達]	学頭惠心院前大僧正…(学頭申問の儀に付き)	学頭代↓小路村梅本与一右衛門・梅本丹下	亥六月二九日	状	—
A	一一三〇七	[触]	一、右学頭代遷化ニ付…(鳴物停止)	学頭代↓梅本与一右衛門	亥六月二九日	状	—
A	一一三〇六	[包紙]	御触書之写	学頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門	六月三日	状	—
A	一一三〇五	[申達]	別紙御触書…				
A	一一三〇四	[触]	日光宮様今般於京都…(一品昇進に付き献上物の事)	学頭代↓小路村梅本一学・梅本采女	申一月二八日	状	—
A	一一三〇三	[申達]	去ル朔日御差紙…(飛脚賃相渡の事)	学頭代役所↓小路村与一右衛門	六月四日	状	—
A	一一三〇二	[触]	火用心の儀者前々…(江戸より改めて申付)	学頭代役所↓小路村両代官	子四月	状	—
A	一一三〇一	[包紙]					
A	一一三〇〇	[申達]	別紙之通高取役所…	学頭代役所↓小路村両代官	癸酉五月五日	状	—
A	一一二九九	覚	右者献上物之節…(費用銀百廿六匁取替に付き)	東寺院内安場直衛↓梅本一学・梅本丹下	五月五日	状	—
A	一一二九八	[包紙]					
A	一一二九七	[申達]	当暮御年貢直段…	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	未二月二日	状	—
A	一一二九六	[包紙]					
A	一一二九五	[申達]	例年之通来ル十日迄…(念旨帳面差出の事)	吉野山坂学頭代↓小路村両代官	丑九月六日	状	—
A	一一一九四	[申達]	例歳之通宗旨御改帳印形…	学頭代役所↓小路村両代官	八月一日	状	—

A	二一 一五	[触]	戸田山城守様御卒去…(鳴物停止)	嘉永 四年 八月 六日	仮学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	二一 一四	[申達]	当歳七年目…(人別改に付き)	嘉永 五年 二月 一日	仮学頭代↓小路村両代官	状	一
A	二一 一三	当暮収納直段		卯一二月二日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	二一 一二	御届書	右名前之…(農用鍛冶細工賞滞一件に付き)	嘉永 五年閏一月二四日	阿知賀岡村鍛冶九兵衛↓小路村御役人中	状・包紙あり	一
A	二一 一一	達	同苗梅本采女義多病…(俵代官見習の事)	申一八月一日	代官梅本一学↓庄屋・年寄・惣組頭中	状・包紙あり	一
A	二一 一〇	[触]	神普四郎秤相用ひ候国々江…(秤数多所持のものに付き)	嘉永 二年閏四月二九日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	二一 九	[触]	去ル丑年間屋組合…(諸間屋再興に付き)	嘉永 五年 一月二八日		状	一
A	二一 八	[触]	御簾中様御逝去…(鳴物停止)	七月 八日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	二一 七	当暮収納直段		申一二月一日	学頭代役所↓小路村両代官	状・包紙あり	一
A	二一 六	[申達]	其村方先納銀之儀…(滞りなく先納の事)	午一六月二〇日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	二一 五	[触および請書]	公方様御不例之処…(鳴物停止)	九月一八日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状・包紙あり	一
A	二一 四	当暮収納直段		未一二月一日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	二一 三	[触]	日光准后一品宮様…(鳴物停止)	天保一四年閏九月二四日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	二一 二	覚	一、銀合八十七匁…(大川懸国役銀請取)	寅一〇月二〇日	吉野郡下市村年番取助↓小路村吉野山領	状	一
A	二一 一	[くくりひも]	(A) 全体のくくりひも				一
A	二一 〇	[包紙]	(A) 全体の包紙				一
A	一一三 一七	[包紙]	(A) 全体 of 包紙等一括		小路村江		三
A	一一三 一六	[包紙]			学頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一三 一五	[触]	去ル七日 教之助様…(鳴物停止)	未一五月二七日	学頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一三 一四	凡例[申渡]	六十余州之寺院…(寺院等取調書に付き)			状	一
A	一一三 一三	動化触	(南都招提寺動化、ほか一通)	文政 八年 七月	仮学頭代↓小路村代官	状	一
A	一一三 一二	[触]	博奕之儀ニ付而者…(博奕、鳴物停止等に付き触三通)	閏 五月二九日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
A	一一三 一一	[申達]	御紙面之趣致承知候…(献上に付き)		東寺院納所↓小路村梅本御氏	状	一
A	一一三 一〇	[包紙]	触書一通			状	一
A	一一三 九	[触]	高取表御預所之儀…(六三郎に仰付に付き)	六月二〇日	代学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
A	一一三 八	[申達]	先達而相触候…(鳴物停止触、大工外家職の者不苦候事)	嘉永 六年 八月 九日		状	一

A	二一三八	[触および請書]	御籠中様御逝去…(鳴物停止)	七月八日	兩代官↓庄屋・年寄・組頭中	状・包紙あり	一
A	二一三七	当暮収納直段		嘉永五年二月二日	学頭代役所持福院↓小路村兩代官	状	一
A	二一三六	当暮収納直段		戌十一月二日	仮学頭代役所↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
A	二一三五	御請書	一、当月廿四日…(吉野山參詣之御無作法に付き説状)			状	一
A	二一三四	触書	学頭代知足院儀…(役儀御免の事)	嘉永四年二月二日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	二一三三	[包紙]	触書			状	一
A	二一三二	[申達]	別紙之通…	子一月二日	仮学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	二一三一	[申達]	来ル十六日学頭前大僧正…(御登山に付き)	九月九日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	二一三〇	[申達]	今般 梶井宮様御事…(御祝儀献上の事)	子五月九日	仮学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	二一二九	[包紙]	御触書式通			状	一
A	二一二八	[申達]	別紙之通高取表より申来…	申四月二日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	二一二七	覚	一、銀老奴…(勝影寺勸化物受取)	午六月二日	学頭代役人↓梅本一学	状	一
A	二一二六	[包紙]	触書			状	一
A	二一二五	[申達]	別紙之通到来ニ付…	丑八月九日	組頭伊右衛門ほか三名・年寄利兵衛・庄屋 治右衛門↓御代官所	状 包紙あり	一
A	二一二四	[触]	諸秤之儀先年 相触候通…	子三月二日	信濃御直判↓吉野郡村々庄屋年寄	状	一
A	二一二三	[触]	一位様薨去被遊候…(鳴物停止)	天保五年一月二日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	二一二二	差紙	御用之儀有之…(飛脚同道の事)	八月二日	修理料↓小路村兩代官	状	一
A	二一二一	[触]	古金銀引替方之儀…	巳十二月	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	二二一〇	[触および請書]	尾張前大納言様…(鳴物停止)	戌五月二日	仮学頭代役所↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
A	二二一九	[申達]	別紙之趣…	五月二日		状 包紙あり	一
A	二二一八	[触]	去戌五月九日朝 浅草…(人相書)	嘉永四年四月	仮学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	二二一七	[申達]	去亥十二月十八日…(人相書)	嘉永五年九月二日	仮学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
A	二二一六	[申達]	学頭前大僧正明十二日…(御登山に付き)	丑三月二日	仮学頭代↓小路村兩代官	状	一

A	二一三九一	〔申達〕	今日五ツ半時惣札有之…(使者同道参上の事)	丑一 三月二三日	假学頭代↓小路村兩代官	状	—
A	二一三九二	〔申達〕	畑方之儀…(武分半引の事)	子一 二月二日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	二一四〇〇	〔觸〕	当九月十二日夜信州高井郡…(八相書)	嘉永 五年 一月二六日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	二一四〇一	觸書	假学頭代喜藏院…(退役に付き)	嘉永 五年 一月二五日	先役預り学頭代	状	—
A	二一四一〇	〔申達〕	別紙之通到来候…	嘉永 五年 一月二五日	組頭利兵衛ほか三名・年寄太右衛門・庄屋 治右衛門↓兩御代官所	状	—
A	二一四二二	〔觸〕	練官御事…(練姫君様と改称に付き練字、いと読み禁止の事)	戌一 九月一七日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	二一四三三	〔觸〕	前々評定所於奉行所…(裁許絵図の事)	六月二日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	二一四四四	当暮収納直段	梅本要人義…(代官見習に付き)	亥一 二月二日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	二一四五五	口達	学頭前大僧正御出立二付…	酉一 六月八日	代官↓庄屋・年寄・惣組頭中	状	—
A	二一四五六	〔申達〕	別紙之通り…	戌一 三月二四日	学頭代↓小路村兩代官	状	—
A	二一四七七	〔申達および請書〕	世上金銀貸借利足の儀…(割合御定)	嘉永 六年 九月二〇日	兩代官↓庄屋・年寄・組頭中	状	—
A	二一四七八	〔觸〕	於増上寺慎徳院様御一周忌…(鳴物停止)	卯一 六月二日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
A	二一四八九	〔觸〕	一、銀八拾八匁…(巻糸下切代)	巳一 二月三日	(下市) おげや源「」↓小路梅本与一 右衛門	状	—
A	二一五〇〇	覚	一、私共親類…(過怠人甚七に付き)	巳一 七月一八日	小路村甚七兄甚右衛門ほか四名↓御代官所	状	—
A	二一五〇一	御請書	紀州熊野那智新宮…(大破に付き勸化觸)	天保一三年 六月三日	假学頭代役所↓小路村代官梅本一学・梅本 丹下	状	—
A	二一五〇二	〔觸〕	当千年人別御改之儀…	未一 一月三日	假学頭代役所↓小路村代官梅本一学・梅本 丹下	状	—
A	二一五〇三	〔申達〕	此度公儀御誕生之姫君様…(改名の事)	午一 二月二八日	假学頭代役所↓小路村代官梅本一学・同断 梅本丹下	状	—
A	二一五〇四	〔觸〕	一、近來村方百姓活脚之もの多…(御用米の儀等に付き)	辛未一 四月二六日	假学頭代役所↓小路村代官梅本一学・梅本 丹下	状	—
A	二一五〇五	申渡	一、其村方忠兵衛娘…(宗官村送り)	文政 五年 九月	假学頭代学頭役人尾崎主馬↓小路村代官梅本 本一学	状	—
A	二一五〇六	請込一札		嘉永 三年 一月	橋本村庄屋兵治郎↓小路村御役人中	状	—

B	一 一七 二	[申達]	別紙之通従 公儀被 仰出…	丑 一七 二九日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
B	一 一七 一	[申達]	別紙之通山領町々相触候二付…		坂学頭代役所↓小路村両代官	状	一
B	一 一六	[触および請書]	一、学頭代坂役喜藏院義…	未 一四 二七日	寄 坂学頭代宝藏院↓小路村両代官・庄屋 年	状・包紙あり	一
B	一 一五	[触]	女院大宮御事去月十三日崩御…	弘化 四年 二月 四日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
B	一 一四	[御触書および請書]	此度於西九御誕生之…	文政 七年 六月 九日	学頭代↓小路村両代官	状・包紙あり	一
B	一 一三	[触および請書]	坂学頭代吉水院義退役…	二月 六日	代学頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門 門・同苗采女	状	一
B	一 一二	[触]	米穀融通のため…	丙申 一 一月		状	一
B	一 一一	[触]	例年之通宗門御改帳…	戌 一 九月 二日	代学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
B	一 一〇 一	[申達]	別紙御触書之趣…	八月 二日	坂学頭代役所↓小路村代官梅本一学・相役 同苗丹下	状	一
B	一 一〇 一	[触]	去々辰三月朔日昼八ツ時頃…(人相書)	午 一 七月	学頭代↓小路村両代官	状	一
B	一 九	[触]	去ル七月清水中納言祿…	文政 二年 一月 二八日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
B	一 八	[触]	去ル七月清水中納言祿…	卯 一 六月 二日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
B	一 七	[触]	泰姫君祿御逝去二付…	卯 一 一月 六日	学頭代役所↓小路村両代官	状	一
B	一 六	[触]	東海道伏見宿外三ヶ宿困窮二付…	寅 一 一月	代学頭代役所↓小路村両代官	状	一
B	一 五	[触および請書]	旧臘廿二「虫損」一橋祿…	卯 一 一月 六日	代学頭代役所↓小路村両代官	状	一
B	一 四	[申達]	当暮御年貢直致…	申 一 二月 一日	学頭代↓小路村両代官	状・包紙あり	一
B	一 三	[触および請書]	一、拙院儀退役願…	文政 一〇年 九月 一〇日	坂学頭代↓小路村両代官	状	一
B	一 二	[触]	尾張中納言祿御逝去二付…	嘉永 二年 五月 九日	学頭代役所↓小路村御代官	状	一
B	一 一	[申達]	先達而申渡候二付請書…(金落手に付)	四月 五日	学頭代役人↓小路村御代官	状	一
B	一 〇	[くくりひも]					一
A	二 一 五 八	乍恐以書附御届 奉申上候	右重介儀…(家出に付き)	嘉永 五年 一月 二四日	庄屋組頭兼治右衛門・年寄太右衛門↓両御 代官所	状	二
A	二 一 五 七	以書付奉申上候	一、当村甚七儀…(御過怠手足之錠被仰付に付き)	天保 三年 六月 二八日	組内治右衛門・庄屋利兵衛・庄屋卯右衛門 ↓御代官所	状	一

B	一一三七	〔触〕	在々において神事祭祀…(芝居見世物等取	(天保二年)二月		状	—
B	一一三六	〔申達および請書〕	一、此度従 御公儀様厚以御憐愍…	天保三年 四月	代官所↓庄屋・年寄・組頭・百姓中	状	—
B	一一三五	〔触〕	一、明春当門様御上落…	(文化九年)一〇月一七日	仮学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一一三四	〔触〕	別書之通追々質案…	三月二八日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一一三三	〔触〕	此度御誕生之御男子様…	(文政六年)四月一日	学頭代成就院↓小路村代官梅本一学	状	—
B	一一三一	〔請書〕	右之通御学頭代…	文政二年 七月 八日	組頭・年寄代・庄屋↓兩代官	状	—
B	一一三〇	〔觸〕	一、仮学頭代真珠院儀…	七月 八日	代学頭代役所↓小路村梅本一学	状	—
B	一一二九	〔觸〕	德川民部卿様御座中様…	五月二六日	学頭代↓小路村梅本与一右衛門	状	—
B	一一二八	〔觸〕	先達而相触置候停止二付…	(天保二年)三月三日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一一二七	〔觸〕	此間鳴物音曲殺生停止…	九月二三日	代学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一一二六	〔差紙〕	当年宗旨御改之義…	八月 四日	代学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一一二五	〔觸〕	乙次郎株伊三八と申もの…	八月 四日	東南院↓梅本与一右衛門	状	—
B	一一二四	〔觸〕	乙次郎株伊三八と申もの…	四月一三日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一一二三	〔觸〕	八幡神主竹尾但馬…	一月一五日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一一二二	〔觸〕	古金銀真字式分判…	嘉永 一年一月一五日	学頭代↓小路村梅本一学・同采女	状	—
B	一一二一	〔觸〕	今般 青蓮院喜久宮様…	九月 八日	学頭代↓小路村梅本一学・梅本丹下	状	—
B	一一二〇	〔觸〕	去月廿六日 竹千代様被遊御逝去…	九月 二日	学頭代↓小路村梅本一学・梅本丹下	状	—
B	一一一九	〔申達〕	別紙三通之通…	二月 三日	学頭代役所↓小路村代官	状	—
B	一一一八	〔觸〕	例年之通宗旨帳面相改…	九月 二日	学頭代↓小路村兩代官	状	—
B	一一一七	〔觸〕	綾姫君様去月廿八日御逝去…	十一月 一日	学頭代役所↓小路村代官梅本内記	状	—
B	一一一六	〔觸〕	百姓共大勢子供有〔虫損〕候得共…	十一月 一日	学頭代役所↓小路村代官梅本内記	状	—
B	一一一五	〔觸〕	去ル丑年踏色直致引下ケ方之儀…(公儀より仰出)	嘉永 五年 一月二四日		綴	—
B	一一一四	〔觸〕	似せ金銀錢拵候もの…	(天保三年)七月二五日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一一一三	〔觸〕	丁銀包兩替之筋欠立候趣…	(天保三年)七月二五日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一一一二	〔觸〕	此度御誕生之姫君様…	天保三年 七月二六日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	—

B	一五八	差紙	御用之儀有之候ニ付…	一月二九日	兩代官↓作兵衛	状	—
B	一五七	〔触〕	近來無宿并野非人共多ク御府内…	天保一三年二月一四日	學頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一五六	〔触〕	町人男女衣服之儀ニ付…	八月	學頭代役所↓小路村兩代官	綴	—
B	一五五	〔触〕	当亥御年貢直段石ニ付…	亥一二月二日	學頭代役所↓小路村代官梅本内記	状・包紙あり	—
B	一五四	〔触および請書〕	去ル八日 公方様覽御…	九月七日	學頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状・包紙あり	—
B	一五三	〔申達〕	別紙之通從御役所到来…	寅一二月八日	兩代官↓庄屋・年寄・組頭中	状	—
B	一五二	〔触〕	灰吹銀其外潰銀類…	未一六月		状	—
B	一五一	〔触〕	当年者諸國豊熟之趣ニ候得共…	九月		状	—
B	一五〇	〔触〕	南都御奉行川路右衛門尉…(巡見御用人足に付き)	弘化 五年 三月一〇日	學頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一四九一	〔觸〕	一、金巻兩ニ付 代六拾七匁五分…	丑一二月三日	學頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一四九一	〔觸〕	鳴物音曲殺生停止…	丑一二月		状	—
B	一四九一	〔申達〕	別紙之通從 公儀被仰出…	二月	學頭代役所↓小路村兩代官	状	—
B	一四九一	〔觸〕	東海道甲州道中宿々之内…	丑一二月		状	—
B	一四八	申渡	近年世上ニ統困窮ニ付…(百姓不精に付き)	天明 五年 九月一日	代學頭代	状	—
B	一四七	〔触および請書〕	徳川民部卿様被成御逝去…	五月一七日	兩代官↓庄屋・年寄・組頭中	状	—
B	一四六	〔触および請書〕	古金銀之儀新金銀に引替…	(文政一二年)一〇月 二二日	仮學頭代↓小路村兩代官中	状・包紙あり	—
B	一四五	〔觸〕	古金引替之儀先達而茂…(古金貯置禁止に付き)	寅一三月二八日		状	—
B	一四四	〔觸〕	學頭惠心院前大僧正入道…(學頭隱居に付き)	(天保二年)七月二日	學頭代役所↓代官	状・包紙あり	—
B	一四三	〔触および請書〕	此度公儀御誕生之御男子様…	五月六日	代學頭代役所↓小路村兩代官・庄屋・年寄	状・包紙あり	—
B	一四二	〔觸〕	來ル晦日文泰(カ)院様御三回忌…	卯一二月五日	學頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状	—
B	一四一	〔觸〕	不益(カ)ニ手間掛り候高直…(奢侈禁止に付き)	(天保二年)一月		状	—
B	一四〇	當暮收納直段	從 南都御奉行所…	卯一二月一日	學頭代↓小路村代官梅本一學・同丹下	状・包紙あり	—
B	一三九	〔申達〕	尾張大納言様被成御逝去…	巳一八月三日	學頭代役所↓小路村兩代官	状	—

B	二一五	〔觸〕	自今新板書物之儀備書仏書…	天保二三年七月二日	学頭代役所↓	状	一
B	二一四	〔觸〕	蟻織法輪寺堂舎大破ニ付…(江戸屋敷へ勸化)	巳一〇月二日	伯耆↓吉野郡村々庄屋・年寄	状	一
B	二一三	一覚	(子一朱銀受取)	丑一五月二三日	四村庄屋九兵衛↓小路村九右衛門	状	一
B	二一一	一覚	(子一朱銀受取)	丑一五月二三日	四村庄屋九兵衛↓小路村九右衛門	状	一
B	二一一	〔済口証文〕	(前欠)相手向郷高津村高田右衛門七…(山林伐木出入に付き)	享和一年一〇月三日	十津川郷林村願人上谷長兵衛ほか↓五條御役所	状	一
B	二一〇	一覚	一、私印形之儀此度相改…	文化九年九月八日	小路村りん・証人友七↓村御役人中	状	一
B	一一七五	〔觸〕	近年諸国在々浪人躰のもの…	天保一四年八月二〇日	代学頭代役所↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
B	一一七四	〔差紙〕	芝村役所 申来候趣…	八月二六日	学頭代↓梅本与一右衛門	状・包紙あり	一
B	一一七三	〔觸〕	朝鮮人対州迄来聘ニ付…	辰一六月二日	代学頭代役所↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
B	一一七二	〔觸〕	当暮御年貢値段石ニ付…	二月二日	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状・包紙あり	一
B	一一七一	〔觸〕	時節流行候節此薬を用て…	酉一五月三日		綴	一
B	一一七〇	〔觸〕	当二月十九日不容易企…(大塩平八郎人相書)	丁酉一三月二六日		状	一
B	一一六九	〔觸および請書〕	金銀吹直ニ付古金銀…	五月九日	学頭代↓小路村代官	状・包紙あり	一
B	一一六八	〔觸〕	公方様来ル十三日日光山江…	四月二日	代学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門	状・包紙あり	一
B	一一六七	〔觸〕	当山学頭職之儀今般從 御門主…	天保一三年四月二日	学頭代役所↓小路村代官・庄屋	状	一
B	一一六六	〔觸〕	金銀掛合候分銅寛文年中…	未一五月二六日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
B	一一六五	〔申達〕	別紙之趣從 公儀被仰出…	丑一一月二四日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
B	一一六四	〔觸〕	鳴物音曲殺生停止…	五月二七日	代官所↓庄屋・年寄・組頭中・浄徳寺	状	一
B	一一六三	〔觸〕	去巳十二月廿九日下総国香取郡…(八相書)	丙午一三月二六日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
B	一一六二	一覚	当暮直段 石ニ付…	辰一二月	学頭代↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
B	一一六一	〔申達および請書〕	別紙之通り吉埜山從 御役所…	三月二八日	学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
B	一一六〇	〔申達〕	別紙共通之通申来候…	四月二日	代官所↓庄屋・年寄・組頭中	状	一
B	一一五九	〔觸〕	当辰ノ収納直段巻石ニ付…	辰一二月二日	学頭代吉水院↓小路村代官梅本与一右衛門・同村年寄	状	一

B	二一 八一 二〇	記〔金銭書上〕	二月十日…	戊一 六月 八日	国内平重郎↓梅本家	状	一
B	二一 八一 一九	証	一、金四拾壹円…(明治一八年徴收分不足に付き)	明治二年一月一九日	寺戸村外十二ヶ村戸長梅本正一↓笹木村若井清五郎	状	一
B	二一 八一 一八	仮記	一、金拾六円…(村金請取)	明治九年九月四日	小路村年番村長梅本為二良↓梅本丹兵馬大兄	状	一
B	二一 八一 一七	証〔領収証〕	一、金貳拾參円五拾銭…	明治三年二月三日	下市村長給太平↓梅本正一	状	一
B	二一 八一 一六	記〔領収証〕	一、金貳円八拾銭…	八月二日	本田屋↓梅本正一	状	一
B	二一 八一 一五	記〔領収証〕	一、金四拾錢五厘…(地目麥等手数料)	明治一八年八月二日	阿知賀村外二ヶ村用係り向井治八郎↓梅本正一	状	一
B	二一 八一 一四	記〔領収証〕	一、金五拾六錢…(酒代)	明治一七年九月二日	米田勝次郎↓梅本正一	状	一
B	二一 八一 一三	証〔領収証〕	一、金七円五拾銭…(宅地賃料)	明治二年二月二日	梅本正一↓下市亀田重平	状	一
B	二一 八一 一二	証〔領収証〕	一、金七円…(地子)	明治三年九月二七日	梅本正一↓亀田重平	状	一
B	二一 八一 一一	証〔領収証〕	一、金七円五拾銭…(地子)	明治三年九月二七日	梅本正一↓豊屋藤平	状	一
B	二一 八一 一〇	証〔領収証〕	一、金四十五円六拾五銭…	明治一五年三月一日	用掛森本善五郎↓戸長梅本正一	状	一
B	二一 八一 九	覚〔領収証〕	一、四円三拾七銭…	九月二日	下瀬村「」田利吉↓	状	一
B	二一 八一 八	記〔金銭書上〕	壹円十八銭	申一 七月	田「」甚↓梅本正一	状	一
B	二一 八一 七	「書簡」	今般貴殿ヨリ代言…(約定書写と書簡)	明治二年九月	吉田莊司梅浄寺(カ)↓梅本正一	状	二
B	二一 八一 六	覚〔領収証〕	金貳十兩…		善右衛門↓梅本	状	一
B	二一 八一 五	証〔領収証〕	一、金六円…(教員月給)	明治一三年一〇月三日	村惣代森本善五郎↓梅本正一	状	一
B	二一 八一 四	証〔領収証〕	一、金百五拾円…(御用立金受取)	明治一六年五月二日	大和国添上(カ)郡伊豆七条村矢追鶴壽↓梅本正一	状	一
B	二一 八一 三	請取事〔領収証〕	一、金五円…(明治三年分敷地子)	明治一四年一月二日	梅本正一↓竹田	状	一
B	二一 八一 二	記〔領収証〕	一、金拾円…(上等嫁入鴉代)	明治二年一月九日	奈良県下奈良村家街鶴熊事吉沢房吉↓吉野郡小路村梅本正一	状	一
B	二一 八一 一	「包紙」	正一ヨリ発セシ受取証ノ扣				一
B	二一 八一 〇	「くくりひも」					一
B	二一 七	乍恐上書申上候	(奉公人返給一件に付き)	文化九年六月	小路村宇右衛門ほか三名↓御学頭代様御役所	状	一
B	二一 六	乍恐口上書申上候	(材木一件出入に付き)	天和三年二月二日	上野地久左衛門↓	状	一

B	二一 一八	當取納	(上納區段書上)	西一 二月一 日	學頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門	狀・包紙あり	一
B	二一 一七	覚	(油代等受取)	享保 六年二 月	淨徳寺修山↓九右衛門	折紙	一
B	二一 一六	[申達]	御用之儀有之候間…	九月二 八日	喜藏院↓小路村梅本与一右衛門	狀・包紙あり	一
B	二一 一五	[書簡]	尚々早々上納可有之候…(御年貢銀に付き)	二 月	竹村丈右衛門↓小路村庄屋九右衛門・年寄	狀・包紙あり	一
B	二一 一四	為取替書附之事	(灰山売渡し取もつれ一件に付き)	明治九 年一 月	中	狀	一
B	二一 一三	覚	(新官様への献上銀に付き)	文政二 年五 月一 日	學頭代役所↓小路村両代官	狀	一
B	二一 一二	[包紙]		二 月一 七日	志賀↓多田長兵衛	狀	一
B	二一 一〇	[書簡]	以手紙得御意候…(東叡山年頭献上に付き)	二 月八 日	志賀村念仏寺納所↓一はし町(カ)多田長兵衛	狀	一
B	二一 一一	[書簡]		二 月一 七日		狀	一
B	二一 九	御届	(地方税等代納者に付き)	明治一 九年 五 月三 日	水谷栄藏↓梅本与一右衛門・同丹下	狀	一
B	二一 八	[月謝袋]	下市高等小学校授業料	明治三 年	吉野郡小路村梅本正一・下市村中本与平↓	狀	一
B	二一 八	[領收証]	(授業料)	明治三 年二 月二 四日	首座教員岡本栄太郎↓梅本升之	袋	一
B	二一 八	[領收証]	下市高等小学校生徒(授業料)	明治三 年一 月一 〇日	宇智吉野郡長吉田正義↓梅本升之	狀	一
B	二一 八	上納証	一、金六拾錢…(授業料)	明治三 年一 月一 日	下市町大字十路寄留梅本馨↓吉野尋常小学校長	狀	一
B	二一 八	[領收証]	(山地券入用等請取)			狀	四
B	二一 八	[領收証]	一、金三円…	明治一 八年 八 月一 六日	下市野木八百吉↓梅本正一	狀	一
B	二一 八	[領收証]	五月七日…	明治一 八年 八 月一 日	下市野木八百吉↓梅本正一	狀	一
B	二一 八	[断簡]	梅(本)平(二郎)様…	西一 七月	下市源(カ)長↓梅本	狀	一
B	二一 八	[領收証]	旧八月朔日…	巳一 二 月	下市源(カ)長↓梅本	狀	一
B	二一 八	[領收証]	一、金四錢五厘…	九 月二 日	鈴木↓梅本	狀	一
B	二一 八	[領收証]	一、金拾円九拾錢…	明治一 八年 八 月二 六日	下市小島直次郎↓梅本正一	狀	一
B	二一 八	[領收証]	一、金拾貳円七拾八錢…	明治一 九年 八 月二 日	下市村小島直次郎↓梅本正一	狀	一
B	二一 八	[金銭書上]	九月十四日…	西一 二 月	国内平十郎↓梅本本家	狀	一
B	二一 八	[金銭書上]	一、金壹円五錢…	八 月一 九日	下市源(カ)長↓梅本	狀	一
B	二一 八	[金銭書上]	七月四日…	西一 七 月六 日	下市源(カ)長↓梅本家	狀	一

B	二一三五一	二	奉差上候御請書	一、村方一統申合不埒…	天保八年一月二十九日	組頭卯右衛門ほか五名→両御代官所	状	一
B	二一三五	一	御請書	一、今般心得違…	天保八年二月二日	小路村組頭卯兵衛・利右衛門・佐右衛門・年寄卯右衛門・庄屋組頭兼帯治右衛門→両御代官所	状・包紙あり	一
B	二一三四		覚	一、金五拾疋…(准后様新門様へ金子差上の事)	一月	学頭代役所→代官	状	一
B	二一三三		覚	一、米壹石式斗…(都合式石五斗拝借の事)	亥一〇月	代学頭代知足院→小路村代官梅本与一右衛門	状・包紙あり	一
B	二一三二		〔申達〕	来ル十二日…(学頭御入院御到着に付き)	九月一日	学頭代→小路村兩代官	状	一
B	二一三一		書附	(庄九良・五人組・年寄へ登山申渡)	未七月五日	代官	状・包紙あり	一
B	二一三〇	二		(前欠)申候故取渡候様ニ申候…(杉角仕出一件に付き)	宝曆八年九月七日		状	一
B	二一三〇	一		乍恐書付ヲ以御願奉申上候…(杉角仕出一件に付き)	宝曆八年九月七日	十津川高津村願入高田藤左衛門→和歌山御役所	状	一
B	二一二九		〔包紙〕	一札	二月九日	仮学頭代→小路村梅本一学・同丹下	状	一
B	二一二八		口上代	(年貢皆済に付き)	二月九日		状	一
B	二一二七		〔申達〕	御預り所村々非人番之者共…(組合村々へ申渡)	亥三月十五日	古市役所→	状	一
B	二一二六		〔請書〕	御口上書之趣致承知候…	二月十三日	東南院納所→小路村梅本与一右衛門・丹下	状	一
B	二一二五	二	口上	(武兵衛身分に付き)	七月一日	堺屋弥助→梅本与市右衛門	状・包紙あり	一
B	二一二五	一	往来一札之事	(武兵衛身分に付き)	享和二年一月	伊州山田郡坊池村薬師寺→在々村御役人中	状・包紙あり	一
B	二一二四		成請取通	(槍股村物成に付き)	(正徳五年)	渡辺善右衛門・中井要右衛門・山本浅野右衛門→	状	一
B	二一二三		覚	(御年貢米・大豆代銀上納に付き)	享保七年二月六日	小路村庄屋九右衛門→学頭代吉水院	状	一
B	二一二二		売渡申畑ケ茶山之事		元禄九年八月九日	吉右衛門	状	一
B	二一二一		新助株	一、高四石三斗一合…(上納高書上)	九月二十九日	蓮蔵院役人→梅本与一右衛門	折紙	一
B	二一一〇		覚〔銀子請取〕	一、銀五百目…	九月二十九日		状	一
B	二一一九		〔申達および請書〕	別紙両通吉野從 御役所…	天保一四年四月二日	代官所→庄屋・年寄・組頭中	状	一

B	二一五四	一札之事	一、今般字智郡令井村…(宗旨帳面へ加筆の事)	文政 一年 九月	世話人佐次郎・証人同村半兵衛↓小路村御役人中	状	一
B	二一五三	[包紙]					一
B	二一五二	[触]	鳴物音曲殺生停止…	天保 二年 五月二七日		状	一
B	二一五一	覚	梅本一学様 宮川庄太夫				一
B	二一五〇	[触]	一、当村藤八儀…(寂靜寺宗旨帳面へ加筆の事)	安永 七年 九月	小路村役人藤七↓下市村寂靜寺	状	一
B	二一九九	廻書	年号改元之儀二付当郡御奉行様…(触書受取)	弘化 五年 四月 三日	飯貝組惣代九右衛門↓吉野山御役所中	状	一
B	二一九八	定差出	嘉水 右之通…(年号改元に付き)	申 七月 三日	吉野山学頭代↓梅本一学・丹下	状・包紙あり	一
B	二一九七	梅本正利室法名	別紙両通之通高取役所…(廻状添書)	享保 六年 二月 二五日	小路村庄屋九右衛門↓学頭代吉水院	状	一
B	二一九六	[申達]	惣高合式百七拾七石式斗九升九合…	文化 二年 五月 二四日	学頭代預り勝光院↓梅本与一右衛門	状・包紙あり	八
B	二一九五	[包紙]	法名釋尼妙好…	四月 八日			一
B	二一九四	[申達]	学頭代後役吉祥院江被 仰付候…				一
B	二一九三	口上代	小路村江	九月 三日	学頭所内福留權右衛門↓梅本与一右衛門	状	一
B	二一九二		御便札致拜見候…(新穀早々御登しの事)	九月 三日		状	一
B	二一九一		切紙之趣被致承知候間…	一月 二三日	学頭代内役人↓小路村兩代官中	状	一
B	二一九〇	[覚書]	一筆致啓上候…(毎年之先納銀子に付き)	九月 二日	吉野山↓梅本与一右衛門	状	一
B	二一三九一	言入御祝儀目録	貴札致拜見候…(谷兵衛松茸盗に付き詫状)	九月	立石村役人↓小路村御役人中	状	一
B	二一三九〇	[くくりひも]	式百四匁六分二厘…(上納銀内訳)			状	一
B	二一三九一	覚	一、私従先祖郷士二而…	二月	梅元重左衛門・九右衛門↓梅元九兵衛ほか二名	折紙	一
B	二一三九一		緋惣籠子…	五月 三日	清嶋宗左衛門↓杉田九右衛門	折紙	一
B	二一三九一		(結納に付き諸儀相談の事)	一月 三日	梅本与市↓西嶋順次	横	一
B	二一三八	借用申銀子之事				状	一
B	二一三七	一札	一、私養子磯八儀…(不縁罷帰に付き)	寛保 一年 三月	吉野郡十二村組廻今野庄屋古右衛門ほか二名↓	状	一
B	二一三六	覚	一、今般字智郡令井村…(宗旨帳面へ加筆の事)	享和 二年 九月	金兵衛後家「」・養子磯八↓小路村御役人中	状	一

B	二一五五―二五	気病諸病	是レハアシノウラトル…(体のツボか)				状	—
B	二一五五―二四	おほへ	一、沓笥三分…(半紙でふき等日用品代書上)				状	—
B	二一五五―二三	〔断簡〕	(馬場・藤村・佐古等銀子書上)				状	—
B	二一五五―二三		いりゑ ちよこ沓間二尺…				状	—
B	二一五五―二二	覚	一、五十目之内(借用銀子書上)			馬場↓佐古	状	—
B	二一五五―二〇	〔金銭書上〕	(かすりかたはら代銀書上)	文政 一年二月 午―六月 七日		林村上谷織之進↓谷瀬村佐古友藏 ↓十津川たこ川村定之丞	状	—
B	二一五五―一九	覚	(葉笥御入用に付き)			石川↓佐古友藏	状	—
B	二一五五―一八	覚	(葉代七匁かしに付き)			た右衛門↓谷瀬佐古	状	—
B	二一五五―一七	覚	(木綿代染賃書上)				状	—
B	二一五五―一六	覚	(綿代谷瀬久保安に御渡の事)	一一月三〇日		林村玉屋(カ)↓長東寺	状	—
B	二一五五―一五	〔金銭書上〕	一、沓笥五分…				状	—
B	二一五五―一四	〔金銭書上〕	田戸門田…(田地代銀書上)				折紙	—
B	二一五五―一三	〔金銭書上〕	一、九匁四分沓厘…			北村↓佐古	状	—
B	二一五五―一二	覚	一、三兩代…(年利銀等書上)				状	—
B	二一五五―一一	借用申金子之事	(元銀借入に付き)	嘉永 三年 六月		佐古友藏・請人藤井淺之進↓平見野兵衛	状	—
B	二一五五―一〇	覚	(取替へ分金銭書上)	一一月		森尾↓佐古友藏	状	—
B	二一五五―九	おほへ	吊一切頼申候…(あごなし地藏の事)				状	—
B	二一五五―八	〔金銭書上〕	一、三拾四匁…				折紙	—
B	二一五五―七	〔金銭書上〕	一、式拾沓匁沓分…			佐田↓佐古	状	—
B	二一五五―六	〔金銭書上〕	藤林 差引…				折紙	—
B	二一五五―五	〔金銭書上〕	一、八分式厘…			北村↓佐古	状	—
B	二一五五―四	〔断簡〕	一、大太				状	—
B	二一五五―三	〔覚書〕	一、百九拾八匁五分三厘…(借用手形)				状	—
B	二一五五―二	〔断簡〕	(刷り物絵の一片)				状	—
B	二一五五―一	〔包紙〕					状	—
B	二一五五―〇	〔くくりひも〕					状	—

B	二一六二一九	〔請求書〕	(地方税)	明治十九年 四月 八日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六二一八	〔請求書〕	(地方税)	明治十九年 四月 五日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六二一七	〔請求書〕	(連合費)	明治十八年	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六二一六	〔請求書〕	(村費)	明治十八年	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六二一五	〔請求書〕	(第五四六号地方税追徴)	明治十八年二月 一日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六二一四	〔請求書〕	(地方税)	明治十八年二月 一日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六二一三	〔請求書〕	(第五四五号地方税追徴)	明治十八年二月 一日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六二一二	〔請求書〕	(地方税)	明治十八年二月 一日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六二一一	〔請求書〕	(連合村費)	明治十八年 八月二〇日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六二一〇	〔請求書〕	(連合村費)	明治十八年 八月 九日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一九	〔請求書〕	(地方税)	明治十八年二月二八日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一八	証	十八年度地方税:	明治十九年 一月一九日	戸長岡田豊藏↓梅本正一	状	—
B	二一六一七	〔請求書〕	(連合費)	明治十八年 八月一八日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一六	〔請求書〕	(連合費)	明治十九年 二月一〇日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一五	〔請求書〕	(地方税追徴)	明治十九年 二月一五日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一四	〔請求書〕	(村費)	明治十九年 五月二四日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一三	〔請求書〕	(連合費)	明治十九年 五月二二日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一二	〔請求書〕	(村費)	明治二〇年一〇月一〇日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一一	領収証	(地方税)	明治二四年一〇月三三日	秋野村収入役本田留藏↓梅本正一	状	—
B	二一六〇一〇	〔くりひも〕					—
B	二一六〇〇一	覚	前書之通御藏附:	未一二月一九日	伊兵衛ほか三名・梅本丹下・与一右衛門	状・包紙あり	—
B	二一五九	〔書簡〕	暖氣之御御両家:(御巡見に付き寸志の事)	三月二七日	久保倉源左衛門↓梅本一学	状	—
B	二一五八	取	去年 之御藏附日限:	未一二月一七日	学頭代役人↓小路村庄屋年寄中	状	—
B	二一五七	開路日銭控	(金錢書上)	明治 八年	請九郎↓吉野郡小路村吉野山領御役人中	横	—
B	二一五六	口達	一、相役采女殿義:(退役に付き御達および請書)	嘉永 三年 二月 二日	梅本一学↓庄屋・年寄・組頭中	状	—

B	二一六一—四三	[請求書]	(四村分地方税追徴)	明治二〇年 一月一五日	↓梅本正一	状	—
B	二一六一—四二	[請求書]	(地方税)	明治一九年 三月一日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一—四一	[領収証]	(地方税)	明治二〇年一〇月一八日	戸長岡田豊蔵↓竹田孫次郎	状	—
B	二一六一—四〇	[請求書]	(地方税)	明治二四年 四月一日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一—三九	[請求書]	(地方税)	明治二〇年 四月一日	戸長岡田豊蔵↓竹田孫次郎	状	—
B	二一六一—三八	[領収証]	(地方税)	明治二〇年 六月一六日	戸長岡田豊蔵↓竹田孫次郎	状	—
B	二一六一—三七	[領収証]	(広橋分山林原野租)	明治一九年一〇月五日	戸長岡田豊蔵↓竹田孫二郎	状	—
B	二一六一—三六	[請求書]	(地方税)	明治一九年一〇月一日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一—三五	[領収証]	(四村分山林原野租)	明治一九年一〇月五日	戸長岡田豊蔵↓竹田孫次郎	状	—
B	二一六一—三四	[領収証]	(山租)	明治一八年一〇月二日	戸長堀甚次郎↓梅本正一	状	—
B	二一六一—三三	[請求書]	(備荒公儲金)	明治一九年 四月九日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一—三二	[領収証]	(四村分地方税)	明治二三年 四月二五日	戸長森喜太郎代辻田清(カ)太郎↓竹田孫(カ)次郎	状	—
B	二一六一—三一	[領収証]	(広橋分地方税)	明治二三年 四月二五日	戸長森喜太郎代辻田清(カ)太郎↓竹田孫(カ)次郎	状	—
B	二一六一—三〇	[請求書]	(村費)	明治二三年 五月五日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一—二九	[請求書]	(広橋分村費)	明治二三年 五月五日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一—二八	[請求書]	(備荒公儲金)	明治二年 四月一五日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一—二七	[請求書]	(村貯蓄)	明治二年 五月五日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一—二六	[領収証]	(四村分地方税)	明治二年一〇月一五日	戸長森喜太郎代辻田清(カ)太郎↓竹田孫次郎	状	—
B	二一六一—二五	[領収証]	(広橋分地方税)	明治二年一〇月一五日	戸長森喜太郎代辻田清(カ)太郎↓竹田孫次郎	状	—
B	二一六一—二四	[領収証]	(協議費)	明治二年一〇月一〇日	吉野郡四村惣代奥田善三郎↓竹田孫(カ)次郎	状	—
B	二一六一—二三	[領収証]	(山林原野租)	明治一九年 八月六日	戸長岡田豊蔵↓梅本正一	状	—
B	二一六一—二二	[領収証]	(山林原野租)	明治一九年 八月一六日	戸長岡田豊蔵↓梅本正一	状	—
B	二一六一—二一	[領収証]	(地方税)	明治一八年 八月四日	戸長役場↓梅本正一	状	—
B	二一六一—二〇	証	(諸雜村費)	明治一九年 八月六日	用掛↓梅本正一	状	—

B	二一六一七〇	〔請求書〕	(四村分村費)	明治二〇年一〇月一〇日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一六九	〔請求書〕	(村費)	明治二〇年一月二五日	広橋村人民総代↓梅本正一	状	-
B	二一六一六八	〔領収証〕	(地押取調入費追徴)	明治二〇年七月二五日	四村地主惣代奥田善三郎↓梅本正一	状	-
B	二一六一六七	〔請求書〕	(備荒公備金)	明治二〇年五月五日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一六六	〔領収証〕	(広橋分地方税中地佃割)	明治二〇年四月二八日	戸長岡田豊藏↓竹田孫次郎	状	-
B	二一六一六五	〔領収証〕	(四村分地方税中地佃割)	明治二〇年四月二八日	戸長岡田豊藏↓竹田孫次郎	状	-
B	二一六一六四	〔領収証〕	(協議費)	明治二〇年九月二四日	梅本正一	状	-
B	二一六一六三	〔領収証〕	(田租)	明治二〇年三月二日	戸長岡田豊藏↓竹田孫次郎	状	-
B	二一六一六二	〔請求書〕	(広橋分村費)	明治二〇年五月一〇日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一六一	〔請求書〕	(四村分村費)	明治二〇年五月一〇日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一六〇	〔請求書〕	(連合村費)	明治二〇年五月二五日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一五九	〔領収証〕	(四村分山林原野租)	明治二〇年一月二七日	戸長岡田豊藏代用掛堀甚次郎↓竹田孫次郎	状	-
B	二一六一五八	〔領収証〕	(広橋分山林原野租)	明治二〇年一月二七日	戸長岡田豊藏代用掛堀甚次郎↓竹田孫次郎	状	-
B	二一六一五七	〔請求書〕	(連合村費)	明治二〇年七月二七日	戸長岡田豊藏代用掛堀甚次郎↓竹田孫次郎	状	-
B	二一六一五六	〔請求書〕	(地押入費追割)	明治二〇年七月一日	四村↓梅本正一	状	-
B	二一六一五五	〔請求書〕	(地方税)	明治二〇年七月二五日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一五四	〔領収証〕	(広橋分山林原野租)	明治二〇年一〇月八日	戸長森喜太郎↓	状	-
B	二一六一五三	〔領収証〕	(四村分山林原野租)	明治二〇年一〇月八日	戸長森喜太郎↓	状	-
B	二一六一五二	〔請求書〕	(広橋分連合村費)	明治二〇年九月二五日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一五一	〔請求書〕	(四村分連合村費)	明治二〇年九月二五日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一五〇	〔領収証〕	(山林原野租巻銭巻厘)	明治二〇年一〇月五日	戸長代辻田法(カ)太郎↓竹田孫次郎	状	-
B	二一六一四九	〔領収証〕	(山林原野租七五錢九厘)	明治二〇年一〇月五日	戸長代辻田法(カ)太郎↓竹田孫次郎	状	-
B	二一六一四八	〔請求書〕	(地方税追徴)	明治二〇年四月一〇日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一四七	〔請求書〕	(備荒公備金)	明治二〇年三月二〇日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一四六	〔請求書〕	(村費)	明治二〇年三月二〇日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一四五	〔請求書〕	(村費)	明治二〇年一月七日	戸長役場↓梅本正一	状	-
B	二一六一四四	〔請求書〕	(広橋分地方税追徴)	明治二〇年一月二五日	↓梅本正一	状	-

B	二一六一九八	[領收証]	(村稅)	明治五年 五月三日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一九七	[領收証]	(地方稅)	明治五年 五月三日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一九六	[領收証]	(四村分雜地租)	明治四年一月二日	秋野村收入役本田留吉↓竹田孫次郎	狀	—
B	二一六一九五	[領收証]	(広橋分地方稅)	明治五年 五月三日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一九四	[領收証]	(四村分雜地租)	明治四年 九月一六日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一九三	[領收証]	(広橋分雜地租)	明治四年 九月一六日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一九二	[領收証]	(村稅)	明治〇年 九月三日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一九一	[請求書]	(連合費)	明治二年 七月一〇日	戸長役場↓梅本正一	狀	—
B	二一六一九〇	[領收証]	(田租)	明治〇年 三月一四日	戸長代堀甚次郎↓竹田孫次郎	狀	—
B	二一六一八九	[領收証]	(広橋分山林原野租)	明治二年 八月八日	戸長森喜太郎↓竹田孫次郎	狀	—
B	二一六一八八	[領收証]	(四村分山林原野租)	明治二年 八月八日	戸長森喜太郎↓竹田孫次郎	狀	—
B	二一六一八七	[領收証]	(地方稅)	明治四年 四月一六日	秋野村收入役本田留藏↓竹田孫次郎	狀	—
B	二一六一八六	[領收証]	(村稅)	明治三年二月二七日	秋野村收入役本田留吉代森喜太郎↓	狀	—
B	二一六一八五	[領收証]	(広橋分村稅)	明治四年 四月二五日	秋野村收入役本田留藏↓梅本正一	狀	—
B	二一六一八四	[領收証]	(四村分雜地租)	明治三年 八月三日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一八三	[領收証]	(広橋分雜地租)	明治三年 八月三日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一八二	[領收証]	(四村分村稅)	明治四年 四月二五日	秋野村收入役本田留藏↓	狀	—
B	二一六一八一	[領收証]	(広橋分村稅)	明治三年 六月九日	秋野村收入役本田留吉↓竹田孫次郎	狀	—
B	二一六一八〇	[領收証]	(四村分村稅)	明治三年 六月九日	秋野村收入役本田留吉↓竹田孫次郎	狀	—
B	二一六一七九	[領收証]	(広橋分地方稅)	明治三年 七月二五日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一七八	[領收証]	(四村分地方稅)	明治三年 七月二五日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一七七	[領收証]	(追加地方稅)	明治四年 五月二八日	秋野村收入役本田留吉↓梅本正一	狀	—
B	二一六一七六	[領收証]	(四村分雜地租)	明治三年 九月一四日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一七五	[領收証]	(四村分雜地租)	明治三年一〇月一三日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一七四	[領收証]	(四村分地方稅)	明治三年一〇月一三日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一七三	[領收証]	(広橋分雜地租)	明治三年一〇月一三日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一七二	[領收証]	(広橋分地方稅)	明治三年一〇月一三日	秋野村收入役本田留吉↓	狀	—
B	二一六一七一	[領收証]	(四村分村稅)	明治三年 九月二三日	秋野村收入役本田留吉↓竹田孫次郎	狀	—

B	二一七三	[申達]	弥御安康二罷成…(御印刻持参の事)	天保七年九月七日	庄司村代官所↓滝上寺・立奥寺・寂静寺	状・包紙あり	—
B	二一七二	覚	一、人拾巻人…			状	—
B	二一七一	[申達]	当御学頭当年…(御用米入用に付き)	八月一七日	学頭代吉水院↓小路村与一右衛門・百姓中	状	—
B	二一七〇	弁済記置	(田畑借権額等書上)		梅本正一	綴	—
B	二一六九	[包紙部分]			吉野山仮学頭代↓小路村兩代官		—
B	二一六八	一札之事	(治兵衛義小路村瀧上寺へ宗旨指預けに付き)	安永九年三月	三宝院御門跡御末寺上野村観音寺↓小路村役人中	状	—
B	二一六七	乍恐別紙書付を以奉申上候	(間屋八郎右衛門方へ吟味に付き)		和泉吉野郡十津川郷高津村高田藤左衛門↓	状	—
B	二一六六	学頭僧正様書状之写	(炭焼に付き覚)	六月五日	恵心院僧正詮榮↓東南院	状	—
B	二一六五	小路村普濟状	惣高式百七拾…(年貢勘定)	享保六年二月二五日	学頭代吉水院↓小路村庄屋年寄惣百姓中	状	—
B	二一六四	御廻状之写	(江戸町方ニ而質流地の事)	享保六年二月		状	—
B	二一六三	[申達]	権僧正来ル十日坂本…(出駕之事)	九月二日		状	—
B	二一六二	乍恐御願奉申上候	一、当郷宝書御上覽…	寛政二年八月	十津川郷下組惣代葛(カ)川中村庄屋人兼助之丞↓御役所	状	—
B	二一六一	[領收証]	(地方税)	明治四年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一六〇	[領收証]	(村税)	明治五年一〇月一五日	秋野村収入役本田留吉↓竹田孫次郎	状	—
B	二一五九	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一五八	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一五七	[領收証]	(広橋分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一五六	[領收証]	(広橋分地方税追加)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一五五	[領收証]	(四村分地方税追加)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一五四	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一五三	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一五二	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一五一	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一五〇	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一四九	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一四八	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一四七	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一四六	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一四五	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一四四	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一四三	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一四二	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一四一	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一四〇	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一三九	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一三八	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一三七	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一三六	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一三五	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一三四	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一三三	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一三二	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一三一	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一三〇	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一二九	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一二八	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一二七	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一二六	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一二五	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一二四	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一二三	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一二二	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一二一	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一二〇	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—
B	二一一九	[領收証]	(四村分地方税)	明治五年一〇月二日	秋野村収入役本田留吉↓	状	—

B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
二一九二	二一九一	二一九〇	二一八九	二一八八	二一八七	二一八六	二一八五	二一八四	二一八三	二一八二	二一八一	二一八〇	二一七九	二一七八	二一七七	二一七六	二一七五	二一七四
訴訟申上候 乍恐口上を以御 事	取替し申一札之 事	御役後請負一札 之事	〔断簡〕	(破損)之谷山 代銀請取之事		乍恐以返答書申 上候	乍恐返答書	〔触〕	請取申已御年貢 銀之事	〔触〕	當春取納直段	〔触および請書〕	〔覚書〕	〔申達〕	口述	覚		
(市兵衛借銀催促の事)	一、此度字宮原村：(役かけ出入に付き)	一、和泉吉野郡：		一、銀「」貫目也：	(前欠)候故御用ニ相立不申：(橋木之儀 に付き)	高津村小川村：(橋木之儀訴訟に付き)	一、右狗(カ)五郎奉申上候：(庄屋役等之 儀に付き訴訟吟味)	今般評定所并於奉行所：(裁許書取集の儀 に付き)	一、新銀壹貫五百目也：	弘化 右之通年号改元：	一、五拾七匁：	今般從御門主様：(学頭仰付に付き)	(於納所小路村免書付)	当子年人別御改：	乍序聞(カ)渡申入候：(七夕年番祝儀に 付き)	御本山江：	貴諭忝拜見仕候：(谷兵衛一見に付き託状)	其村方伊三郎と申もの：(家出に付き届出)
正徳 三年 一月一六日	元禄 二年 六月 六日			午 七月一九日		元禄 二年 六月	文化 三年 二月 六日	子 七月	享保 六年 二月晦日	天保 五年 二月二九日	午 二月一日	三月二六日	安永 三年 二月二六日	二月二〇日	一月 八日	一月 八日	九月 二日	二月三日
訴訟入谷瀬村友右衛門↓辻弥五左衛門	十津川上組之内上ノ地村庄屋平左衛門ほか 十七名↓	和泉池原村元右衛門ほか二名↓十津川上役 下役中	東南院納所↓梅本与一右衛門・丹下	桧又村年寄役林兵衛↓中(カ)南村役人衆中			吉野郡十津川郷谷瀬村上分六株方式拾六人 惣代藤井須治代藤井狗五郎ほか二五名↓辻 甚太郎様御役所	佐橋長門守・深谷遠江守↓御預所連名	吉水院内行村文右衛門↓小路村庄屋九右衛 門	学頭代役所↓小路村両代官	同名丹下	学頭代吉水院↓小路村梅本与一右衛門	学頭代↓小路村代官梅本与一右衛門		梅本与一右衛門・采女↓庄屋年寄組頭衆中	坊藤兵衛・橋本長左衛門↓梅本	立石村役人↓小路村役人中	假学頭代役所↓小路村両代官
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

B	二一〇九	覚	御請	一、銀百四拾五匁：(年貢納銀割付の事)	丑一 三月	四村庄屋九兵衛↓小路村九右衛門	状	一
B	二一〇八	覚	吉野屋敷へ上せ 申候大豆費用	一、拾七貫五百	巳一 二月		状	一
B	二一〇七	[書簡]	其元御登儀無之				状	一
B	二一〇六	覚	一、新銀九百八拾目八雲：(年貢銀上納証文)	一六日		吉水院納所↓小路村庄屋九右衛門	状	一
B	二一〇五	覚	一、御請書并断書為持参遣	文政二年 五月一日		学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
B	二一〇四	[申達]	来ル十二日学頭惠心院：(御登山に付き人足差出の事)	九月 七日		学頭代役所↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
B	二一〇三	乍恐御願	私儀従先祖代々：(对三郎兵衛出入に付き)	元文 三年 一月三日		十津川郷上組高津村横(カ)兵衛↓千種請右衛門・疋田庄九郎	状	一
B	二一〇二	乍恐御願奉申上候	(銀子返済に付き訴状)			十津川郷谷瀬村佐古覚三郎↓下市村藤兵衛ほか一名	状	一
B	二一〇一	[申達]	御用之品有之ニ付：(召出)	未一 二月二〇日		喜藏院福井玄蕃↓小路村九右衛門ほか六名	状	一
B	二一〇〇	[書簡]	去月米三斗被登：(普請に付き米差出)	七月 九日		市之進↓小路村「一」庄屋中	状	一
B	二一九九	覚	三貫文：(過料受取に付き)	天保 八年 二月		学頭代役人↓小路村御代官中	状	一
B	二一九八		忠兵衛印 勘左衛門印：(連印之写)				状	一
B	二一九七	覚	一、此度村内小前一統寄合之儀				折紙	一
B	二一九六	(破損) 恐再応 奉書上候	(对新宮小河屋訴状差上に付き)	宝曆 八年 二月		行 十津川郷高津村高田藤左衛門↓和歌山御奉	状	一
B	二一九五	[申達]	学頭正覚院：(前大僧正御遷化に付き)	六月 六日		学頭代吉水院役人↓小路村梅本与一右衛門	状・包紙あり	一
B	二一九四	[覚書]	右之通御改被為 仰付候：(帳面差出之儀に付き)	寛政 二年 七月		日光御門主御支配所小路村門徒惣代儀右衛門↓	綴	一
B	二一九三	御神事御幣当本 格式扣書	(拜礼順番等書上)	一月 一日			状	四
B	二一九二	[申達]	此間申入置候田普請並川手石垣	閏 七月 一七日		小路村兩代官↓下市寂靜寺	状	一
B	二一九一	[申達]	書状致拝見候：(検見出役に付き)	六月 一日		学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
B	二一九〇	御請	采女事梅本丹下	九月 二五日		学頭代役所↓小路村兩代官中	状	一
B	二一八九	覚	一、銀百四拾五匁：(年貢納銀割付の事)	丑一 三月		四村庄屋九兵衛↓小路村九右衛門	状	一
B	二一八八	吉野屋敷へ上せ 申候大豆費用	一、拾七貫五百	巳一 二月			状	一
B	二一八七	[書簡]	其元御登儀無之				状	一
B	二一八六	覚	一、新銀九百八拾目八雲：(年貢銀上納証文)	一六日		吉水院納所↓小路村庄屋九右衛門	状	一
B	二一八五	覚	一、御請書并断書為持参遣	文政二年 五月一日		学頭代役所↓小路村兩代官	状	一
B	二一八四	[申達]	来ル十二日学頭惠心院：(御登山に付き人足差出の事)	九月 七日		学頭代役所↓小路村兩代官	状・包紙あり	一
B	二一八三	乍恐御願	私儀従先祖代々：(对三郎兵衛出入に付き)	元文 三年 一月三日		十津川郷上組高津村横(カ)兵衛↓千種請右衛門・疋田庄九郎	状	一
B	二一八二	乍恐御願奉申上候	(銀子返済に付き訴状)			十津川郷谷瀬村佐古覚三郎↓下市村藤兵衛ほか一名	状	一
B	二一八一	[申達]	御用之品有之ニ付：(召出)	未一 二月二〇日		喜藏院福井玄蕃↓小路村九右衛門ほか六名	状	一
B	二一八〇	[書簡]	去月米三斗被登：(普請に付き米差出)	七月 九日		市之進↓小路村「一」庄屋中	状	一
B	二一七九	覚	三貫文：(過料受取に付き)	天保 八年 二月		学頭代役人↓小路村御代官中	状	一
B	二一七八		忠兵衛印 勘左衛門印：(連印之写)				状	一
B	二一七七	覚	一、此度村内小前一統寄合之儀				折紙	一
B	二一七六	(破損) 恐再応 奉書上候	(对新宮小河屋訴状差上に付き)	宝曆 八年 二月		行 十津川郷高津村高田藤左衛門↓和歌山御奉	状	一
B	二一七五	[申達]	学頭正覚院：(前大僧正御遷化に付き)	六月 六日		学頭代吉水院役人↓小路村梅本与一右衛門	状・包紙あり	一
B	二一七四	[覚書]	右之通御改被為 仰付候：(帳面差出之儀に付き)	寛政 二年 七月		日光御門主御支配所小路村門徒惣代儀右衛門↓	綴	一
B	二一七三	御神事御幣当本 格式扣書	(拜礼順番等書上)	一月 一日			状	四

B	三十一	一	荒高書上帳				寛政 四年 二月	吉野郡廻組槍又村↓芝村御役所	竖	一
B	三十一	〇	〔くくり心も〕							一
B	二二三	五	〔申達〕	最近無尺与号し…			酉一 四月		状	一
B	二二三	四	〔書簡〕	一輪啓上仕候秋気…(送り状への礼状)			八月	光明寺↓梅本一学	状	一
B	二二三	三	〔申達〕	其取次 十日当方へ…			九月 八日	文治↓梅本与一右衛門	状	一
B	二二三	二		此間須治立御出来之儀…(出来不足に付き)				小路村組頭卯兵衛内徳兵衛↓兩代官所	状・包紙あり	一
B	二二三	一	御請書	一、私儀兄作兵衛儀…(土地頂戴に付き)			天保 八年 二月 二日			一
B	二二三	〇	〔申達〕	(前欠 様ニ相心得弥正月…(年貢皆済期限に付き)			卯一 二月 二八日	学頭代↓小路村組頭	状	一
B	二二九	一	〔申達〕	一、若人分 吉野山 御渡し…			六月 二五日	飯貝村役人	状	一
B	二二九	一	〔申達〕	弥御堅勝之由…(朝鮮人通行に付き)			六月 二五日	飯貝村九右衛門↓小路村御代官中	状	一
B	二二八		〔申達〕	輪御門主様来八月上旬江戸表…			文化一〇年 七月 二三日	飯学頭代東南院↓小路村地下人梅本一学・丹下	状	一
B	二二七		覚	一、其村方年寄役儀先年…			天明 五年一〇月	代学頭代↓小路村庄屋・年寄・組頭	状	一
B	二二六		〔申達〕	学頭様御発駕之儀…			九月 二九日	〔一〕 一 嶋内記↓小路村梅本与一右衛門	状	一
B	二二五		〔申達〕	尋度儀有之候…(御登山に付き)			二月 七日	役所↓小路村梅本与一右衛門	状	一
B	二二四		県税目録	一、金六十六錢七厘…			明治 九年一月	戸長役場↓年番村長	状	二
B	二二三		目録書	一、金貳百三拾九兩…			巳一 四月 九日	杉津屋源左衛門↓承入屋喜兵衛	状	一
B	二二三			米納之儀ニ付彼是…			九月 二日	福田権右衛門↓梅本与一右衛門	状	一
B	二二二		〔申達〕	以手紙申達候…			九月 七日	下 学頭代運藏院↓小路村梅本与一右衛門・丹下	状	一
B	二二〇		〔申達〕	被置儀有之候間…			八月 六日	仏頂院役所↓梅本与一右衛門・九八郎	状	一
B	二一九		覚	一、鍋七ツ…			一月 二日	清兵衛ほか二名↓	状	一
B	二一八		口上代	昨日願ニ付…(國普請銀の事)			六月 四日	吉野山役所↓小路村兩代官	状	一
B	二一七		〔覚書〕	御道具持…(行列の書上か)					状	一
B	二一六		〔触〕	此度世上通用…(南鐮銀兩替に付き)			嘉永 七年 一月 二四日	原村忠右衛門	状	一
B	二一五		借用申銀子之事	右之銀子我…			文政 四年 一月	善五郎・三右衛門・久右衛門・甚兵衛↓権	状	一

B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
三一 一六	三一 一五	三一 一四	三一 一三	三一 一二	三一 一一	三一 一〇	三一 九	三一 八	三一 七	三一 六	三一 五	三一 四	三一 三	三一 二	三一 一一 二
覚帳	月村銀邑地勘定 享保八癸卯歳極	御学頭領取納上 り銀并米納帳	御学頭領取納上 取帳 年貢并漆役銀請	高棟漆請取諸入 用渡覚帳	甲辰歳村地咨米	〔横帳部分〕 〔横帳部分〕	甲辰歳小路邑入 用勘定高棟割附 帳	御学頭領取納帳	御学頭領御取納 帳	田畑屋敷反別順 番名前帳	御学頭領御取納帳	四村領御年貢上 納通	割積成村地子帳	御学頭領御取納免 帳	大和国吉野郡檜 又村高反別小前 帳
一、五拾目…(頼母子の事)						入用方 巳十二月…(村入用勘定帳部分) 村銀勘定…(村入用勘定帳部分)									
		享保 四年二月		享保 九年二月			享保 九年二月	文政 五年二月	文政 六年	明治 六年 一月	文政 二年二月	文政 二年二月	文政 二年二月		天保 四年 八月
	小路村	小路邑杉田九右衛門	小路村庄屋九右衛門					小路村取立所	小路村取立所	大和国吉野郡廻組檜又村		梅本一学		小路村極本	吉野郡吉野郷廻組檜又村庄屋勘兵衛ほか二 名↓小田又七郎役所
横半	横	横	横	横	状	状	横	竖	竖	竖	竖	横半	竖	横半	竖
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
四一〇	三一三二	三一三二	三一三〇	三一二九	三一二八	三一二七	三一二六	三一二五	三一二四	三一二三	三一二二	三一二一	三一二〇	三一一九	三一八八	三一八七
「くくりひも」	五人組	大和国吉野郡十 二村取(カ)廻組 檜又村高反別帳	増帳 畑田成起返り免	落地野取図	り代価取調帳	畑屋敷一筆限 り代価取調帳	畑屋敷一筆限 り代価取調帳	吉野山学頭小路 村取納之帳	取引小通	通	「寛書」 吉野山学頭領 寅年取納帳	吉野山学頭領 帳	「横帳部分」 吉野山学頭取納 帳	「横帳部分」 高合五石式斗四升: 一、式匁壹分: (勘定帳部分)	「横帳部分」 享保甲辰歳小路 村漆役銀請取帳	享保庚戌十五歳 村地勘定帳
	(宗旨御改帳前書)									り の書状写等)	一、京都本御門主様: (龍上寺・木村氏よ)	(裸掛銀割)	(納所成就院)			
	天保二年三月	文久一年一〇月	天保一四年九月	明治一九年九月	明治六年一月	明治六年一月	享保四年九月	明和四年四月一六日	明和四年一月六日	万延二年一月	享保七年二月	享保一五年九月				享保一六年二月三日
	吉野郡十津川郷中之村長楽寺・西雲寺↓矢 嶋藤藏殿御役所	所 百姓代吉兵衛ほか二名↓松永善之助様御役	百姓惣代久七ほか二名↓	吉野郡檜又村地主尾野福治ほか二十名↓大 阪府知事建野郷三	吉野郡檜又村持主増谷弥藏ほか二名	吉野郡檜又村持主坂本利造ほか二名		河内屋作右衛門↓極元内記	河内屋作右衛門↓極元内記		庄屋九右衛門・年寄太右衛門					小路屋九右衛門ほか六名
	豎	豎	豎	豎	豎	豎	横半	横	横	横	横	横半	横	横	横	横
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

B	四一 二二	宗旨送り手形之事	(庄治縁付に付き)	嘉永 五年 三月	高市郡藤井村庄屋儀助↓吉野郡勝治村御役 人中	状・包紙あり	—
B	四一 二〇	送り一札	(はや縁付に付き)	嘉永 七年 三月	阿知賀岡村庄屋治兵衛・年寄喜助↓小路村御代官中	状	—
B	四一 一九	人別送手形之事	(志か縁付に付き)	嘉永 一年 五月	吉野郡七田村庄屋兵十郎↓小路村御役人中	状	—
B	四一 一八	送一札	(さよ縁付に付き)	寛政 七年 九月 八日	吉野郡下市村庄屋重兵衛・年寄忠兵衛↓小路村庄屋年寄代官	状	—
B	四一 一七	送手形	(竊藏養子に付き)	文久 一年 八月	吉野郡大峯村成満寺↓小路村浄徳寺	状・包紙あり	—
B	四一 一六	宗旨村送り之事	(縁付に付き)	弘化 四年 二月	吉野郡今木村庄屋源治郎↓庄司村御役人中	状・包紙あり	—
B	四一 一五	一札之事	(友七養子に付き宗旨送り)	安永 九年 九月	紀州伊都郡上兵庫村友七親九右衛門・判人同村弟権七↓小路村御役人中	状	—
B	四一 一四	宗旨人別村送り手形之事		弘化 三年 三月	吉野郡坂巻村庄屋九右衛門↓小路村御役人中	状	—
B	四一 一三	証文請返	(人別手形)	文久 二年 六月	和州吉野郡宝泉寺↓小路村浄徳寺	状・包紙あり	—
B	四一 一二	人別村送り之事	(人別手形)	安政 二年 二月	吉野郡広橋村庄屋利兵衛↓小路村御役人中	状・包紙あり	—
B	四一 一一		大「」請取申候			状	—
B	四一 一〇	送り一札	(与一右衛門別家相続引越しに付き)	寛政 七年 九月	南河(カ)堀村庄屋孫兵衛↓小路村御役人中	状	—
B	四一 九	「包紙」 村送り一札	村送り一札			状	—
B	四一 八	村送り一札之事	(亀吉養子に付き)	天保 一三年 一月	宇智郡新町村庄屋久兵衛↓小路村御役人中	状	—
B	四一 七	宗旨請状之事	(前田次郎左衛門養子の事)	天明 四年 三月	越部村弘願寺↓戸田孫左衛門尉	状	—
B	四一 六	送り一札之事	(友七小路村へ引越しに付き)	安永 九年 八月	紀州伊都郡上兵庫村庄屋左右衛門・年寄甚兵衛↓小路村御役人中	状	—
B	四一 五	送り一札之事	(小きん縁付に付き)	享和 三年 四月	高市郡小槻村庄屋藤兵衛↓小路村御役人中	状・包紙あり	—
B	四一 四	「題箋」	大和吉野郡文書			状	—
B	四一 三	宗旨村送り手形之事	(すゑ縁付に付き)	安政 二年 九月	権原村庄屋利右衛門↓小路村御役人中	状・包紙あり	—
B	四一 二	宗旨請込一札之事	(留藏土佐町へ養子)	弘化 三年 二月	高市郡土佐町大年寄市郎右衛門↓吉野郡小路村御役人中	状	—
B	四一 一	村送り一札之事	(喜助他家内六人出稼)	文化 六年	紀州伊都郡山田村庄屋京左衛門・年寄庄次郎↓和州吉野郡小路村御役人代官衆	状	—

B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
四一三九	四一三八	四一三七	四一三六	四一三五	四一三四	四一三三	四一三二	四一三一	四一三〇	四一二九	四一二八	四一二七	四一二六	四一二五	四一二四	四一二三	四一二二	
宗旨請込一札	宗門送手形	宗旨送一札	村送り一札	請込一札	送り手形之事	宗旨村送り一札之事	送り一札之事	村送り一札之事	人別請込証之事	送り一札之事	村送り一札之事	村送り一札之事	人別村請込一札	人別送り手形之事	覚	差入申一札之事	僧請之事	
(宗門加入に付き)	(寅吉御世話之儀に付き)	(源作権兵衛方へ養子に付き)	(伊兵衛・かめ・文吉家職勝手に付き)	(佐太郎等養子に付き)	(儀八金子後家方へ養子に付き)	(きえ清五郎方へ縁付に付き)	(弁三郎跡相続に付き)	(源四郎悖とみ小路村へ引つ越しに付き)	(重助弥助方へ縁付に付き)	(たけ久五郎へ縁付に付き)	(美わ作兵衛へ縁付に付き宗旨送り)	(とめ娘いち両人佐助方へ養女に付き)	(孫四郎方へ善次郎姉とき入縁に付き)	(吟藏作兵衛方へ養子に付き)	いち十七才銀藏…	(新藏養子に付き)	一、此僧儀者…	
文政 六年 三月 五日	安永 九年 四月 一月二九日	文化 一三年 四月	寛政 二年 九月	丑一 一月 四日	嘉永 三年 二月	寛政 八年 一月	天保 九年 三月	天保 一三年 三月	寛政 三年 二月	天保 六年 九月一〇日	天保 一三年 二月	安政 三年 二月	天保 一五年 一月	寛政 六年 九月	文政 二年 七月			
葛下郡北花園村庄屋善右衛門↓吉野郡小路村御役人中	林村中屋常助↓六田邑林藏	飯貝本善寺役寺随徳寺↓小路淨徳寺	右衛門↓和州吉野郡小路村御役人衆中	紀州牟婁郡「」田郷葛巻洲村庄屋善右衛門	小路村庄屋佐右衛門↓忍満郡忍満村	司村御役人中	宇智郡今井「」一丁代理助↓吉野郡庄	吉野郡長瀬村庄屋平右衛門↓同郡小路村御役人中	旧川村庄屋久作・年寄金三郎↓小路村御役人中	吉野郡立石村庄屋与右衛門↓同郡小路村御役人中	檜垣出(カ)村年寄武右衛門↓小路村御役人中	善城村年寄七兵衛庄屋十兵衛↓立石村庄屋年寄中	袖谷村庄屋源右衛門↓小路村御役人中	吉野郡塩谷村庄屋宇兵衛↓同郡庄司村御役人中	高市郡山本村庄屋又兵衛↓小路村御役人中	宇智郡新町付庄屋又兵衛↓吉野郡小路村御役人中	下市村新藏親堀内清左衛門・同村世話人宗兵衛↓小路村御役人中様	宇智郡佐名伝村淨迎寺本人生国紀州有田郡中嶋村光明寺次男慈明↓小路村御代官梅本一学・梅本房之丞
状・包紙あり	状・包紙あり	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状・包紙あり
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一

B	四一五五	寺送	(宗旨加印之事)	天明 一年 九月	川原屋村仏国寺↓藤屋村何寺	状・包紙あり	一
B	四一五四	宗門受込候一札之事	(茂七娘か宗判相除之事)	文化 八年 九月	和州市立興寺↓天川白浦村吉祥寺兼帶所御所坊殿	状	一
B	四一五三	宗旨送印証之事	(後家きぬ儀宗旨送り)	安政 五年 三月	今井町西光寺役者極楽寺↓吉野郡小路村淨徳寺	状	一
B	四一五二	為取替一札	(瀧上寺 宗旨送りの事)	安政 二年 九月	下市村寂浄寺↓小路村役人中	状・包紙あり	一
B	四一五一	宗旨送一札	(貴院檀那に加入に付き)	安政 二年 九月	性願寺代判柳原村正源寺	状・包紙あり	一
B	四一五〇	宗旨送り一札之事	(浄土真宗に相加之度に付き)	享保 三年 四月	若尾御坊役僧園時寺↓善城村瀧上寺	状・包紙あり	一
B	四一四九	宗旨請込手形	(宗帳加入に付き)	弘化 三年 三月	下湖光時寺↓藤谷村瀧上寺	状	一
B	四一四八	寺送り手形	(旦那奥印被成下候に付き)	文化 二年 四月	野郡小路村淨徳寺	状・包紙あり	一
B	四一四七	宗旨送一札之事	(宗帳加入に付き)	寛政 六年 二月	天川郷沢原村光遍寺↓善城寺瀧上寺	状・包紙あり	一
B	四一四六	「宗旨送り一札」	(里津宗門加入に付き)	寛政 二年 八月	京都知恩院直末阿知賀村龍洞院↓善城村瀧上寺	状	一
B	四一四五	送り一札之事	(宗帳加入に付き)	安政 三年 八月	大峰浄満寺↓小路淨徳寺御知事	状	一
B	四一四四	人別送り一札之事	(人別加入に付き)	弘化 四年 九月	泉州堺生善寺↓瀧上寺御知事	状・包紙あり	一
B	四一四三	請込一札之事	(宗門帳面加入に付き)	安永 二年 三月二三日	柳原村庄屋弥六・年寄弥兵衛↓小路村御役人中	状	一
B	四一四二	宗旨請込手形	(宗門に加帳に付き)	嘉永 二年 五月	葛下郡北花園村庄屋善三郎↓吉野郡庄司村御役人中	状・包紙あり	一
B	四一四一	宗旨送り一札	(宗帳除に付き)	天保 三年 六月	下市寂浄寺↓庄司村淨徳寺	状	一
B	四一四〇	宗旨送り一札之事	(人別宗旨送付に付き)	弘化 二年 八月	高市郡市尾村妙楽寺↓吉野郡小路村淨徳寺知事	状	一
B	四一四〇	宗旨送一札之事	(宗門加入に付き)	弘化 二年 八月	三川郷沢原村仏照山光遍寺↓小路村淨徳寺	状	一
B	四一四〇	宗旨送一札之事	(宗判加入に付き)	天保 二年 四月	吉野郡善城村瀧上寺↓長楽寺	状	一
B	四一四〇	人別送り手形之事	(人別加入に付き)	文政 四年 九月	吉野郡檀垣本村庄屋与左右衛門↓小路村御役人中	状・以下五点一綴	一

B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B				
四一七一	四一七〇	四一六九	四一六八	四一六七	四一六六	四一六五	四一六四	四一六三	四一六一四	四一六一三	四一六一二	四一六一一	四一六一〇	四一五九	四一五八	四一五七	四一五六					
覚	送り一札	送り一札	宗旨人別村送り 手形之事	一札之事	送り一札	宗旨送り一札	送り一札	送り一札	宗旨送り状之事	宗旨請証文之事	宗門送り手形 事	宗門送り一札之 事	寺送り一札之事 事	人別送り手形之 事	宗旨送り手形之 事	宗旨送一札	宗旨受込					
(分銅儘に預りに付き)	(五人差戻に付き)	(宇兵衛伴源次儀宗門送り)	(古う儀宗門送り)	(日雇判人引請の事)	(幸治家内の事)	(三人宗旨送り)	(久兵衛妻伴三人宗門送り)	(茂兵衛宗門送り之事)	(さ免)	(いく)	(とめ)	(な津儀宗門送り)	(藤八儀宗門送り之事)	(梅本采女方へ養子に付き)	(たけ儀村送り)	(重次郎他四名引越しに付き)	(弥兵衛西玉村をよ方へ養子に付き)					
二月一日	寛政八年八月	安永八年九月五日	天保一四年三月	寛政八年二月	寛政九年	寛政七年二月	享和二年三月一九日	寛政一〇年九月	明和五年三月二四日	宝暦二年二月	明和三年四月	明和七年二月二日	享和三年九月	弘化四年九月	天保三年二月	嘉永五年一月	寛政二年九月	文久三年一月				
分銅役所↓梅本与一右衛門 中	中野村庄屋中梅本内藏之助↓榎尾村御役人	小路村庄屋年寄御中 中村「一」庄屋九右衛門組頭源十郎↓ 村梅本采女	葛下郡田井村庄屋吉川弥兵衛↓吉野郡庄司 門	戸長村出人六兵衛・譜人惣兵衛↓与市右衛 人中	岡村庄屋治郎兵衛・年寄喜助↓小路村御役 人	和州宇陀郡下平井村利平ほか二名↓吉野郡 小路村御役中	吉野郡小路村↓宇智郡原村御役人中	吉野郡下市村庄屋五兵衛・年寄忠右衛門↓ 小路村庄屋年寄御中	小路村浄徳寺↓田井庄村光蓮寺	上野村庄屋年寄中	吉野村滝上寺殿末寺小路村浄徳寺↓宇智郡	山田村地藏寺↓しょうじ村浄徳寺	西古條殿御末寺和州吉野郡小路村浄徳寺↓ 河州三宅村龍光寺	吉野山長泉村↓庄司村浄徳寺	本一学	泉州堺北中之町役人↓和州吉野郡小路村極 中	吉野郡大岩村庄屋六郎兵衛↓小路村御役人	知事	立石村庄屋茂兵衛↓小路村御役人中	和州吉野郡十津川郷林村吉水寺↓浄徳寺御	高下郡今市現徳寺↓吉野郡小路村浄徳寺	
状	状・包紙あり	状	状・包紙あり	状	状	状・包紙あり	状	状	状・包紙あり	状	状・包紙あり	以下四点一括	状・包紙あり	状・包紙あり	状	状	状	状	状	状	状・包紙あり	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

B	四一七九	事	出生送り手形之事	(やま等村送りに付き)	安永五年四月	宇智郡今市村庄屋左兵衛↓吉野郡小路村庄屋年寄中	状	一
B	四一七八	事	出所送り手形之事	(さと并多之吉村送り)	寛政七年三月	宇智郡原村庄屋祐五郎年寄栄次郎↓吉野郡小路村御役人中	状・包紙あり	一
B	四一七七	二	一札	(請書下書きカ)	寛政六年九月	阿知賀組上村庄屋↓小路村御役人中	状	一
B	四一七六	一	一札	(十太郎村送りに付き)	寛政六年九月	阿知賀組上村庄屋↓小路村御役人中	状	一
B	四一七五	一	一札	(常松・按吉兩人村送り)	嘉永五年二月	曾根村永三郎↓吉野郡小路村御役人中	状	一
B	四一七四	一	一札	(弥平姉村送り)	寛政六年三月	吉野郡四村庄屋源兵衛ほか一名↓小路村御役人中	状	一
B	四一七三	一	一札	(長兵衛倅儀村送り)	文政八年二月	吉野郡六田村庄屋六右衛門↓小路村御役人中	状・包紙あり	一
B	四一七二	一	一札	(平七娘縁付に付き)	寛政二年四月二日	宇陀郡下ひらい村庄屋三藏↓庄司村御役人中	状	一
B	四一七一	一	一札	(竹藏宗門送り)	天保二年六月	吉野郡下市村庄屋忠兵衛↓小路村御役人中	状	一
B	四一七〇	一	一札	(家内仁わ宗門送りに付き)	天保二年二月	横尾村庄屋重次郎↓小路村御役人中	状	一
B	四一七九	一	一札	(甚藏儀宗門送り)	弘化四年一月	洞川村庄屋清兵衛↓庄司村治右衛門	状	一
B	四一七八	一	一札	(善四郎宗門の儀に付き)	天保二年八月	久兵衛↓村役人様	状	一
B	四一七七	一	一札	(清右衛門・弥三吉引つ越しに付き)	天保二年四月	高市郡佐田村庄屋久七↓庄司村御役人中	状	一
B	四一七六	一	一札	(人名書きあげ)	天保二年九月	吉野郡広橋村庄屋重三郎↓小路村御役人中	状	一
B	四一七五	一	一札	(作藏引つ越しに付き)	弘化二年二月	笠木村庄屋儀兵衛↓小路村御役人中	状	一
B	四一七四	一	一札	(きり儀縁付に付き)	天保二年八月	吉野郡十津川郷宇宮原村庄屋↓小路村御役人中	状	一
B	四一七三	一	一札	(利右衛門小路村に罷越しに付き)	天保九年二月	吉野郡馬佐村庄屋喜兵衛↓小路村御役人中	状	一
B	四一七二	一	一札	(利右衛門寺送りに付き)	九月	馬佐村引受人九兵衛↓小路村御役人中	状	一
B	四一七一	一	一札	(沢源村竹藏引つ越しに付き)	天保二年三月	吉野郡天川郷沢原村庄屋年寄↓小司村御役人中	状・以下二点一綴	一

B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
五 一 五	五 一 四	五 一 三	五 一 二	五 一 一	五 一 〇	四 一 八 八	四 一 八 七 一	四 一 八 七 一	四 一 八 六 一	四 一 八 六 一	四 一 八 六 一	四 一 八 六 一	四 一 八 五	四 一 八 四	四 一 八 三	四 一 八 二	四 一 八 一	四 一 八 〇
取為替一札之事	当暮取納直致書	「申達および請書」	「申達」	覚	「くくりひも」	宗旨送り一札之事	「書簡」	「書簡」	送り一札之事	引請一札之事	養子一札之事	送り一札之事	宗旨送り一札	「包紙」	宗門請込一札	身請一札之事	人別請取一札之事	「包紙」
(大橋掛方入用諸儀木)	(学頭代からの触状)	別紙之通到来候に付き…(代官所からの御触書)	御手紙申遣候…(御国絵図之請書写入用に付き)	(御一周忌御香典の事)		(ふさ不縁に付き)	一筆致啓上候…(詫び状)	一筆致啓上候…(詫び状)	(藤吉の事下書)	(藤吉の事)	(藤吉の事)	(藤吉新左衛門方へ養子の事)	(いし普兵衛方への縁付に付き)	村送り数通人	(三郎兵衛村おくりに付き)	(照四寺弟浄徳寺住職就任に付き)	(民之助の儀に付き)	送り一札
寛政 五年二月	二月一日	三月三日	四月三日	四月九日		嘉永 四年 六月	文政 七年 一月	一〇月二五日	安永 六年 六月	安永 六年 六月	安永 六年 六月 六日	安永 六年 六月	文化 二年 六月	寛政 七年 九月	文化 一四年 九月	寛政 五年 九月	嘉永 三年 四月	
水口勘藏・高田亦藏↓左右柳藏	学頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門	代官所↓庄屋・年寄・組頭中	学頭代役人↓小路村当代	滝上寺↓小路村浄徳寺・御門徒中		葛下郡北亀内村庄屋惣治郎↓吉野郡庄司村御役人中	引請人立石村正覚寺本人右正覚寺弟分俗請同村扇屋儀兵衛↓小路村御門徒中	小路村梅本一学↓同断幻生	小路村年寄藤七↓河州丹北郡西何保村庄屋長兵衛	河州丹北郡西何保村庄屋長兵衛↓和州梅本御庄屋与市右衛門	小路村実父藤兵衛↓河州丹北郡西何保村利八・新五左衛門	小路村年寄藤七↓河州丹北郡西何保村庄屋長兵衛	吉野郡瀧畑村庄屋孫兵衛年寄藤兵衛↓しやうじ邑御役人中	莊司正利	善城村滝上寺↓広橋村法泉寺	河州石川郡南大伴村太郎右衛門・源兵衛・八次郎↓小路村御役人衆中浄徳寺御同役中	泉州堺北中之町役人↓日光宮御内和州吉野郡小路村梅本一学	
状	状	状	状	状		状	状・包紙あり	状	状	状・付紙あり	状	状・以下四点一括の包紙あり	状・包紙あり	状	状・包紙あり	状・包紙あり	状・包紙あり	状・包紙あり
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

B	五―二二―七			小路村源兵衛(十九番米壹石納入に付き)	丑―二月二〇日	はんたて作兵衛↓蓮藏院様御納所	状	―
B	五―二二―六	覚		一、新銀百九拾弍分五厘:	丑―二月一九日	吉水院納所↓小路村九右衛門	状	―
B	五―二二―五	[書簡]	預米簡忝拝見仕候:(米代銀に付き)	二月二〇日	はんたて作兵衛↓小路村九右衛門	状	―	
B	五―二二―四	[請書]	後四番米一石:(米借用に付き)	丑―二月二日	はんたて作兵衛↓吉野山蓮藏院御納所	状	―	
B	五―二二―三	[書簡]	先日已来暖之候:(新銀に付き)	二月九日	はんたて作兵衛↓九右衛門	状	―	
B	五―二二―二	覚	(銀受取に付き)	享保六年二月二日	院 下市村はんたて(カ)作兵衛↓吉野山蓮藏院	状	―	
B	五―二二―一	覚	(五年上納勘定に付き)	寅―二月六日	吉水院納所	状	―	
B	五―二一	廻文	御例之通宗門改帳面:	卯―九月二日	代学頭代役所(東南院)↓小路村両代官	状	―	
B	五―二〇―二	[申達]	右別紙両通之通東叡山申来候:	文政二年六月二日	仮代学頭代↓小路村両代官	状	―	
B	五―二〇―一	廻文	大和国天台宗:(宮様上京に付き)	文政二年五月二四日	住心院・真覚院↓多武峰妙楽寺ほか二名	状	―	
B	五―一九	[申達]	態以飛札得:(触書致来に付き)	四月二日	吉野山竹内左衛門(カ)↓梅本与一右衛門	状	―	
B	五―一八	覚	(上納受取)	五月二六日	実城寺納所↓梅本与一右衛門	状	―	
B	五―一七	[申達]	小路村百姓卯右衛門:(居宅再造の儀図面の事)	卯―八月二日	学頭代役所↓小路村両代官	状	―	
B	五―一六	[申達]	御用之儀有之候間:(役所出向の事)	八月二九日	学頭代役所↓小路村両代官	状	―	
B	五―一五	[申達]	喜藏院之儀:(学頭代役の儀に付き)	六月四日	学頭代喜藏院↓小路村代官梅本与一右衛門	状	―	
B	五―一四	[書簡]	先月若御登山御太義:	寅―二月二〇日	丈右衛門↓九右衛門	状	―	
B	五―一三	丑年水損普請場	(普請場長と等書きあげ)	寅―二月二〇日	丈右衛門↓九右衛門	一枚綴	―	
B	五―一二	覚	(請取証文)	享保六年二月	小路村源兵衛↓九右衛門	状	―	
B	五―一一	[申達]	(五ツ時迄に役所出向の事)	五月九日	学頭代↓小路村代官	状	―	
B	五―一〇	覚	(御触状請取の儀)	三月二〇日	太右衛門・伝兵衛↓ 学頭代役所↓小路村当代様	状	―	
B	五―九	[申達]	(村方人別改について)	三月二〇日	学頭代役所↓小路村当代様	状	―	
B	五―八	[申達]	従南都 御院家様:(年貢勘定目録について)	二月二〇日	小路村庄屋杉田九右衛門↓吉水院様御納所	状	―	
B	五―七	[申達]	右金銀真字式批判:(通用停止を十月まで延長)	寛政四年一月五日		状	―	
B	五―六	覚	(御本山への上納)	二月三日	御使僧長興寺↓小路村淨徳寺殿御門徒之中	状	―	

B	六―一	享保拾五庚戌年 大川筋御普請御 国割高掛り銀割 付勘定帳			享保一六年二月	小路村惣代理兵衛ほか六名	横	一
B	六―〇	〔くりひも〕 事				字宮原村伝右衛門↓ 亀之助代五郎右衛門ほ か一名	状	一
B	五―三七	取替し申済状之 事	(畑茶山屋敷銀に付き)		正徳五年五月一日	喜蔵院↓小路村梅本与一右衛門	状	一
B	五―三六	〔申達〕	此間願出候田方普請…(役人案内の事)	文政四年一〇月一五日	亥一 一月一九日	学頭代↓小路村両代官	状・包紙あり	一
B	五―三五	〔廻状〕	別紙之通再三願出候…(願出不取上に付き)					
B	五―三四	〔廻状および請 書〕	日光准后様薨去被為在候…(鳴物停止)		閏九月一四日	両代官↓庄屋・年寄・組頭中	状	一
B	五―三三	〔申達〕	秋冷相催候得者各様御前…		八月一四日	庄司村代官所↓善城村瀧上寺ほか一寺	状	一
B	五―三二	〔申達〕	昨日持参仕…(御供の銀子に付き)		三月五日	坊城之与太郎↓梅御隠居	状	一
B	五―三一	覚	あげ 一、銀八拾六匁…(出京に付き路銀等書き 頂戴の事)		午一二月	梅本与一右衛門↓村御役中	状	一
B	五―三〇	〔申達〕	口上書致拝見候…(早敷に付き当本尊燈明 御勘定差出)		七月一〇日	吉野山学頭代内役人↓小路村両代官	状	一
B	五―二九	享保六年丑年小 路村御年貢銀納			享保七年二月一六日	小路村庄屋九右衛門↓御学頭代吉水院	状	一
B	五―二八	一札之事	一、当村藤七儀貫寺…(宗旨送り)		安永七年八月	庄屋・年寄↓寂靜寺	折紙	一
B	五―二七	〔申達〕	安楽心院宮様…(薨去に付き)		五月二九日	学頭代役所↓小路村梅本与一右衛門・丹下	状	一
B	五―二六	〔申達〕	当午年人別御改之儀…(人別改帳面作成に 付き)		午一二月二八日	学頭代役所↓小路村代官梅本与一右衛門	状	一
B	五―二五	〔請書〕	別紙之段御役所…(蝕書承知に付き)		二月二三日	組頭太左衛門・兵右衛門・宗右衛門・利兵 衛↓両御代官所様	状	一
B	五―二四	口上覚	一、私共儀先達而日敷…(他出に付き届 に付き)		文化九年四月一日	梅本内蔵助・丹下↓御学頭代様御役所	状	一
B	五―二三	覚	七百九拾六匁三分五厘…(丑上納銀勘定に 付き)		亥一 五月一八日	御村呉(カ)兵衛↓小路村九右衛門	状	一
B	五―二二	〔廻状〕					状・包紙あり	一

B	B	B	B	B		B	B	B		B	B	B	B	B	B
六一一五	六一一四	六一一三	六一一二	六一一一		六一一〇	六一〇九	六一〇八		六一〇七	六一〇六	六一〇五	六一〇四	六一〇三	六一〇二
棟漆請取諸人用渡覚帳	取引通 村地資米〔虫扱〕	丙午歳村地地資米高棟漆請取諸人用渡覚帳	浄徳寺本堂彩色二付勘定覚	浄徳寺鐘修造寄進物之者勘定帳	進帳 梅本家一族中寄進帳	吉野郡浄徳寺如来前卷障子三口 梅本家一族中寄進帳	〔覚書〕 (田畑山林買得の代銀の覚カ)	山一筆銀代価取調帳	取帳 世話掛給其他請取帳	金御布告料祠掌世話掛給其他請取帳	牢獄警察「 」議区費課出	出頭録	〔覚書〕 小路村漆役銀請取帳	小路邑入用勘定高棟割付帳	吉野山御学頭領収納帳
	戊七月十二日改…(預り銀覚)											(出銀控之)	高引三八免左三但シ田方…(地種品位別筆別石高書きあげ)		
	成		天保六年			文化一年二月		明治六年二月		明治八年八月	明治九年			享保二年二月	享保一六年二月
	小路村庄屋九右衛門・年寄太右衛門ほか	沢田屋作右衛門↓梅本内記	小路村惣世話方中	梅本一学正利			檜又村尾野定治郎			第九大区三小区戸長役所	第九大区三小区小路村年番什長			小路村庄屋九右衛門ほか年寄	小路村九右衛門(前庄屋)ほか↓庄屋理兵衛
横	状	横	横	豎		豎	横	豎		横半	横半	横	横・後半欠カ	横	横
一	一	一	一	一		一	一	一		一	一	一	一	一	一

B	六十一二九一四	覚	一、銀百三拾九匁…(年貢銀直納に付)	亥十一月一五日	喜藏院納所↓小路村治兵衛	状	一
B	六十一二九一三	覚	戊年 正月十八日…(銀子書き上げ)			状	一
B	六十一二九一二		字五未田 百八十一…			横・断簡	一
B	六十一二九一	[年貢勘定帳]	新兵衛 高倉三石六升…			横・前後欠・以下七点一括	一
B	六十一二八	金銀大福覚帳		安政 七年 一月	佐古半兵衛	横	一
B	六十一二七	寺院本末御改帳		延享 三年 二月	小路村不動院無住庄屋清右衛門ほか↓御奉行所	豎	一
B	六十一二六	[申達]	文政度以来金銀吹直…(金銀吹直につき仰渡)	九月	学頭代役所↓小路村両代官	豎	一
B	六十一二五	享保拾五庚戌歳小路邑漆役銀請取帳		(享保一五年)	小路村庄屋九右衛門ほか惣代計七名	横	一
B	六十一二四	享保拾五庚戌歳小路村漆役銀請取帳		(享保一五年)		横	一
B	六十一二三	御巡見諸用扣		文政 三年 三月 八日	正利	豎	一
B	六十一二二	前書彙通	(写し)		檜亦村中	豎	一
B	六十一二一	文化十二亥六月廿八日洪水二付水損場左二				横半	一
B	六十一二〇	宗旨帳檜又村		文化 六年 三月	組親儀兵衛ほか	豎	一
B	六十一一九	金銀万之大福帳		安政 五年 一月	佐古友藏	横	一
B	六十一一八	乍恐御請書奉差上候	(材木値段直下仰渡されに付き)	天保一三年 四月	小路村伝右衛門ほか	豎	一
B	六十一一七	[覚書]	天保八年酉正月廿日…(願書尋覚、日記)	(天保 八年)		豎	一
B	六十一一六	地価取獲取調帳		明治 九年 二月	大和国第八大区第九小区吉野郡今西村什長年番中本久治郎	豎	一

B	六―三九	〔年貢勘定帳〕	太右衛門 高合号十六合…																
B	六―三八	民費	(諸費用書きあげ)	明治七年七月	第七大区吉野郡拾一小区小路村副戸長瀧本多四郎・戸長森本米太郎	横	一												
B	六―三七	森羅万象要書	(文書ひな型)			竖	一												
B	六―三六	享保拾貳丁未歳小路村漆役銀請取帳			庄屋九右衛門・年寄太右衛門	横	一												
B	六―三五	文久二戌年正治正則并二写天保四己年御收納帳写		文久二年	梅本一学正治	横	一												
B	六―三四―五	御遠(以下欠)			世話人	横	一												
B	六―三四―四	両祖御遠忌二付耳目		(弘化二年)九月	浄徳寺門徒中	横	一												
B	六―三四―三	諸記		弘化二年	小路村	横	一												
B	六―三四―二	両祖(虫損)		弘化二年		横	一												
B	六―三四―一	両祖師御遠忌二付金銀錢札明白書抜覚帳		弘化二年九月		横・以下五点一括	一												
B	六―三三	村地資米高棟漆請取諸入用渡覚		(享保七年極月)	小路村	横・後欠	一												
B	六―三二	〔断簡〕	入用方 一、三匁五分 右午十二月…			横	一												
B	六―三〇	〔断簡〕	渡方 入用帳 一、百拾匁四分…			横	一												
B	六―二九―七	〔書簡〕	年始之御祝儀二付…			状	一												
B	六―二九―六―二	覚	一、銀壹貫三百五拾六匁…(受取)	亥―一月一四日	喜藏院納所↓小路村九兵衛	状	一												
B	六―二九―六―一	覚	一、百三十九匁五分 治兵衛上納の内…	亥―一月一五日	喜藏院納所↓小路村九兵衛	状	一												
B	六―二九―六―一	戌御年貢請取		一月二三日	〔↓柏(カ)原村光次郎ほか一四名	状・以下三点一括	一												
B	六―二九―五―二	〔申達〕	一、御年貢当十日切…	亥―一月一四日	喜藏院↓小路村庄屋九右衛門	状	一												
B	六―二九―五―一	〔請書〕	一、去ル戌年御年貢御勘定…	一月一四日	小路村庄屋九右衛門↓学頭代喜藏院	状	一												

B	七	[新聞紙]	(日本読書新聞)	昭和三十七年 八月二十七日			一
B	六一四一	取引大通	(銀子預りの覚)	戊辰七月二日	沢田屋作右衛門↓梅本内記	折紙	一
B	六一四〇		延享三丑極月取替銀…(銀子書きあげ)			横・断簡	一

II 奈良県吉野郡下市町教育委員会所蔵分

甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲
二一四	二一三	二一二	二一一	二一〇	二一九	二一八	二一七	二一六	二一五 一一二	二一四	二一三 一一二	二一二	二一一	二一〇	一一二	一一一	一一〇	一一〇	一一〇
[書簡]	覚	用向心覚	[書簡]	[書簡]	[書簡]	[書簡]	[金錢書上]	[封筒]	覚	通	[親族書]	[親族書]	[親族書]	[親族書]	[日記断簡]	[日記断簡]	[日記断簡]	[日記断簡]	[日記断簡]
寒冷之御弥御安…(下市村大火に付き)	御杯之儀…(杯のうけわたしに付き)	日程覚書	一、森村氏へ土産もの改之事…(儀礼)	一、筆巻啓上候…(梅本氏縁談に付き)	御繁多之御中…(引越一条に付き)	御前紙拝見仕候未ダ暑…(中元御祝儀に付き)	御前紙拝見仕候未ダ暑…(中元御祝儀に付き)	御前紙拝見仕候未ダ暑…(中元御祝儀に付き)	一、振袖…(布類等諸品目録)	一、結納髪斗…(矢追家へ婚礼出産関係書き上げ)	一、結納髪斗…(矢追家へ婚礼出産関係書き上げ)	明和四年亥御年貢…(年貢収納関係書き上げ)	一、祖父 吉川弥兵衛…	一、五十六状…(出銭日記)	一、今夕七条 使長右衛門…(徴収納銀扣など)	(村方よりの祝儀目録など)	一、猪鹿耕地荒しに付き)	書き出し(内容)	書き出し(内容)
一〇月一七日	八月二五日		五月二八日	二月二四日	二月二日	七月九日		文久三年 四月							文久三年カ			安永七年 九月	年代
好川弥太郎↓梅本御賢公	矢追内奥田久次郎↓中谷大吉郎		御場村旅宿中谷大吉郎↓梅本御氏	愚兄(吉川)↓一学	矢追典膳↓梅本一学	矢追典膳↓梅本一学		梅本一学正治↓										小路村百姓惣代組頭伊兵衛・九八郎・藤七↓御学頭代様御役所	作成↓宛所
状	状	状	状	状	状	状	横	状	状	横	状	横	横	横	横	横	横	横	横
一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

甲	二一三七	[書簡]	別紙ヲ以御内々申進候：	一二月一日	恵心院大僧正御内河中越後↓蓮藏院	状	—
甲	二一三六	[書簡]	未残暑之節御座候所：(御みあい日に付き)	七月二四日	御坊村旅宿 中谷大吉郎↓梅本御氏	状	—
甲	二一三五	[書簡]	一筆啓上：	一二月二七日	立興寺↓梅本一学	状	—
甲	二一三四	覚	一、来ル十五日結納相納候事：	一月	矢追	状	—
甲	二一三三		勇之輔御誕生ニ付			状	—
甲	二一三二	[書簡]	御念もしに御文下され：(私儀婚姻済むに付き)	一月	矢追多賀野↓梅本御母さま	状	—
甲	二一三一	[書簡]	秋冷之御益御勇健：(御縁談に付き)	八月二五日	吉川愚兄↓梅一学	状	—
甲	二一三〇	覚	一、六拾七匁：	未—二月二日	京新町通五「」二丁目井上大文 字屋七右衛門↓水口	状	—
甲	二一二九	[書簡]	寒冷弥増ニ御座候処：(結納に付き)	一〇月二六日	吉川愚兄↓一学	状	—
甲	二一二八	[書簡]	以別紙御礼奉申上候：(御扇子料の件ほか)	二月五日	矢追典膳↓梅尊大人	状	—
甲	二一二七	[書簡]	尊翰拝見仕候如來聴：	一二月二九日	矢追寿閑↓梅本一学	状	—
甲	二一二六	[書簡]	御細書具ニ奉拝見候：	一二月二四日	弥十郎↓一学	状	—
甲	二一二五	[書簡]	極寒の御御座候：(出火の儀に付き)	一二月二四日	吉川弥太郎↓梅本御叔父	状	—
甲	二一二四	[書簡]	俄ニ今日愚妻参上ニ付：(縁談関係)	一二月二四日	よし川愚兄↓梅本一学	状	—
甲	二一二三	[書簡]	益御安栄：(婚儀関係に付き)	二月二六日	吉川愚兄(弥太郎)↓梅御覽主(一学)	状	—
甲	二一二二	[書簡]	前略 御仁免：(古服類に付き)	二月二八日	愚兄↓一学	状	—
甲	二一一〇	[書簡]	(矢追親類名前書き上げ)	八月二五日	郡山家中中谷大吉郎↓梅本御氏	状	—
甲	二一一八	[書簡]	今般婚姻首尾能：(御見舞御届の事)	一月二二日	矢追典膳↓梅一学	状	—
甲	二一一九	[書簡]	今般婚札無滞相済候：(荷物受け取りに付き)	一月二二日	矢追典膳↓梅一学	状	—
甲	二一一七	覚 [書簡]	一、多賀の 来ル十日：(婚札日程に付き)	一月七日	矢追内↓小森村御氏	状	—
甲	二一一六	[書簡]	急以手紙得御意候：	一月三日	兄↓一学	状	—
甲	二一一五	[書簡]	前文御仁免：(梅本氏縁談に付き)	八月二六日	よし川愚兄↓梅本御賢公	状	—

甲	二一五六	葬礼口訳				加藤猪右衛門	水嶋十也・伊藤甚右衛門・石川半平・	状	一
甲	二一五五―二	記	一、多賀の事当十一日早天…					状	一
甲	二一五五―一	覚	一、拾六匁六分 紫紺…	一〇月二日		拾ぜん↓上		状	一
甲	二一五四	〔覚書〕	片箱一「」 秋田振袖…					状	一
甲	二一五三	〔覚書〕	一、小袖数何枚何品取合…(婚礼一件)					状	一
甲	二一五二	申談	(婚礼一件)					横	一
甲	二一五一	覚		二月		屋甚兵衛↓ 京都新町通五条下ル一丁目古手所角菱		状	一
甲	二一五〇	〔書簡〕	当月四日御発之尊翰…(婚礼一件)	三月二六日		京六条油小路花屋町下ル伊勢屋伊助方 矢追典膳↓梅本一学		状・包紙あり	一
甲	二一四九	〔表白文〕	謹敬白六八願王弥陀…(大師尊靈哀愍 表白文)			瀧上寺第二十五世惠嚴		状	一
甲	二一四八	〔書簡〕	弥御替茂無御座珍重…(御年貢滞に付 き)	一月八日		清水治次↓梅本内記		状	一
甲	二一四七	〔書簡〕	前文御仁免然ハ昨日…(結納一件)	二月八日		好川愚兄↓梅本		状	一
甲	二一四六―三	〔書簡〕	今朝手紙披見如仰…					状	一
甲	二一四六―二	覚	一、四拾匁…					状	一
甲	二一四六―一	覚	一、銀三百匁…	寅―三月二八日				状	一
甲	二一四五	〔断簡〕	一、札五拾八匁…					状	一
甲	二一四四	〔書簡〕	一筆致啓上候…	四月二四日		中司駿河・同河内↓梅本一学・同織之 助		状	一
甲	二一四三	〔書簡〕	尊章難有拝見仕候…	四月二五日		梅本一学・同織之輔↓中司駿河・同河 内		折紙	一
甲	二一四二	〔書簡〕	別紙を以御内々申進候…	一月一日		恵心院御内河中越後↓蓮藏院		状	一
甲	二一四一	〔申達〕	当年畑方両毛共不作に付…	子―二月二日		学頭代↓小路村代官梅本内記		状	一
甲	二一四〇	覚	正月二日一銀壹貫目…(銀子受取に付 き)	丑―一月二六日		勝光院納所↓小路村梅本与一右衛門		状	一
甲	二一三九	覚	一、銀貳百九拾壹匁…	明和 六年一〇月八日		大野豊藏↓梅本与一右衛門		状	一
甲	二一三八	〔書簡〕	尚々折角御養生被遊候様…	四月二日		多賀野↓御父上様		状・包紙あり	一

甲	三二二一〇	覚	(九右衛門御用メ高)	九月二八日	八百や長右衛門↓梅本一学	状	一
甲	三二二一九	親類書				状	一
甲	三二二一八	上書	(畑地水荒に付き)	宝曆七年二月	小路村九兵衛↓学頭代喜藏院	状・包紙あり	一
甲	三二二一七	〔名前書上〕	(婚姻関係親類書)			状	一
甲	三二二一六	覚	九月廿三日 一、廿五分五分…(本堂障子取替の勘定)	一二月三日	↓与一右衛門	状	一
甲	三二二一五	通	(御收納書目録等書損に付き)	天保七年	学頭代役所↓小路村兩代官	状・包紙あり	九
甲	三二二一四	〔書簡〕	暖氣相立分申候處…	四月一日	矢追典膳↓吉川弥十郎	状	一
甲	三二二一三	〔申達〕	被相尋候儀有之候間…	六月二日	学頭代役人↓小路村梅本一学	状	一
甲	三二二一六	覚	一、卷貫五拾匁…			状	一
甲	三二二一六	〔金銭書上〕	辰極月廿日 一、七拾八匁…			状	一
甲	三二二一五	覚	一、銀拾匁…	辰一七月	知音院役人↓小路村	状	一
甲	三二二一三	〔金銭書上〕	一、八百五拾匁…	巳一六月九日	知足院納所↓小路村代官	状	一
甲	三二二一三	覚	遺し)	午一七月九日	役所↓小路村兩代官	状	一
甲	三二二一五	覚	一、金貳貳貳步…	三月二日		状	一
甲	三二二一三	覚	共書損に付き)			状	一
甲	三二二一三	御答	去ル天保七申年御上納…(普濟御目録御書面難有拜見仕候…			状	一
甲	三二二一三	〔金銭書上〕	一、五匁 善兵衛		丹下↑上	横	一
甲	三二二一三	〔包紙〕	一、銀百六拾五匁…	辰一二月二日		横	一
甲	三二二一三	覚	一、去ル酉年村人 聞取書ヲ以…			横	一
甲	三二二一〇	〔包紙〕	文政二五年正月日…	宝曆三年	水嶋十也・伊藤甚右衛門・石川半平・加藤猪右衛門↓季冬中院	状	一
甲	三一〇	〔仮整理メモ〕	(文章表題書上)			状	一
甲	三一〇	〔くりひも〕				状	一

甲	五十一一八	覚	一、百文 すき…	未一〇月一四日	店(カ)万助↓梅本一学	状	一
甲	五十一一七	覚	一、百拾五匁…	一〇月八日	エビキ↓梅本御氏様	状	一
甲	五十一一六	覚	御紙面之通り致承知…(寺納銀に付き)	未一〇月三日	氏↓水口	状	一
甲	五十一一五	預り申銀子之事		二月二六日	南溪↓梅本内記	状	一
甲	五十一一四	口述		明和 六年 一月 一二月二八日	梅本内記↓梅本九兵衛	状	一
甲	五十一一三	覚	一、武拾四匁…	未一〇月一四日	森むら彦左衛門↓梅本	状	一
甲	五十一一二	覚	一、武拾目 戌六月分年賦銀未進…		屋「」↓上	状	一
甲	五一一一	覚	一、百拾五匁…	未一〇月三日	京都新町通五条下ル一丁目古手所角菱	状	一
甲	五一〇	覚			屋甚兵衛↑上	状	一
甲	四一二二	覚	九 御旗本諸太夫江…			折紙	一
甲	四二二一		奉納ノトキ…			折紙	一
甲	四二二〇		是奉納ノ格也…			折紙	一
甲	四二一九		六 諸太夫 同輩…			折紙	一
甲	四二一八		壹 献上…		(松尾信濃守長元)	折紙	一
甲	四二一七		四 清大夫 侍従位へ…			折紙	一
甲	四二一六		十二 他家之家来付へ…			折紙	一
甲	四二一五		進上 御太刀正宗一腰…		(松尾信濃守長元)	折紙	一
甲	四二一四		断書也 真行草有り…		(松尾伊勢守重次)	折紙	一
甲	四二一三	献上			(小笠原大膳大夫長時)	状	一
甲	四二一二		一、結納日限…			折紙	一
甲	四二一一	覚	一、結納日限…			折紙	一
甲	四一〇	覚				状	二
甲	三一二二	覚	廿四日 一、武百三十式文…	九月二八日	八百や長右衛門↓梅本一学	状	一
甲	三一二一	覚	謹次題贈韻…		蓮峰子	状	一

甲	五 一 一〇 一八	覚	一、五十二文 赤天鷲…	午 一〇月 三日	山口(カ) ↓梅本一学	状	—
甲	五 一 一〇 二七	口演	一、前文御断…	午 一〇月 三日	山口市兵衛 ↓梅本一学	状	—
甲	五 一 一〇 二六		一、はさみ箱…	午 一〇月 二日	山口 ↓梅本一学	状	—
甲	五 一 一〇 二五	覚	一、三百五拾文…	一〇月 二日	丁子屋九右衛門 ↓水口	状	—
甲	五 一 一〇 二四	口上	一、三刎…	午 一八月 二六日	下市箱佐 ↓庄司梅本一学	状	—
甲	五 一 一〇 二三	覚	一、五拾刎…	未 一 月 九日	↓梅本一角・はりまや三右衛門	状	—
甲	五 一 一〇 二二	覚	一、藍箱之内…	一〇月 二日	三条新町西入 千田屋寿助 ↑上	状	—
甲	五 一 一〇 二一	覚	一、六拾八刎…	未 一 月 三日	↓上	状	—
甲	五 一 一〇 二〇	覚	一、七拾七刎…	未 一 月 八日	↓梅本一角・はりま屋左兵衛	状	—
甲	五 一 一〇 一九	覚	一、貳百刎…	三月 三日	↓梅本	状	—
甲	五 一 一〇 一八	覚	一、拾五刎三り…	五月 六日	松屋大和忠兵衛 ↓梅本一学	状	—
甲	五 一 一〇 一七	覚	一、拾七貫七百…	五月 五日	いせ源 ↓浄徳寺	状	—
甲	五 一 一〇 一六	覚	一、拾七貫七百…	五月 五日	いせ源 ↓浄徳寺	状	—
甲	五 一 一〇 一五	覚	三月五日 一、百文…	未 一 月 三日	井甚 ↓和州梅本一学	状	—
甲	五 一 一〇 一四	覚	一、八拾三刎…	未 一 月 六日	代吉次郎 ↓梅本一学	状	—
甲	五 一 一〇 一三	覚	一、四拾八刎…	未 一 月 五日	↓梅本一学	状	—
甲	五 一 一〇 一二	証	一、金百五拾疋…	四月 二八日	万年 ↓浄徳寺	状	—
甲	五 一 一〇 一一	覚	一、貳百五十文 納所役銭…	四月 二四日	藤太 ↓箔(カ)市	状	—
甲	五 一 一〇 一〇	覚	一、拾八刎七分…	四月 二三日	丈助 ↓上	状	—
甲	五 一 一〇 〇九	覚	一、九拾八刎 鼠小紋…	未 一 月 七日	代吉次郎 ↓梅本御氏	状	—
甲	五 一 一〇 〇八	覚	一、十三刎五分…	未 一 月 七日	平助 ↓宮本一角	状	—
甲	五 一 一〇 〇七	覚	一、六分 紫紺一疋分…	四月 二七日	井庄 ↓梅本御氏	状	—
甲	五 一 一〇 〇六		為御謝儀金貳百五拾疋…	四月 二六日	山本 ↓梅本一学	状	—
甲	五 一 一〇 〇五		一、貳朱 脂引用…	未 一 月 四日	畑治郎右衛門 ↓妙光寺	状	—
甲	五 一 一〇 〇四	証	一、御木佛尊像…			状	—
甲	五 一 一〇 〇三		廿四日 一、貳刎…			状	—
甲	五 一 一〇 〇二		五月十一日 一、惣拾六刎…			状	—
甲	五 一 一〇 〇一		一、五刎三分…			状	—

甲	九一 二一 八	酉下作地子帳		天保 八年	吉野郡庄司屯梅元姓	横	—
甲	九一 二一 七	申下作地子帳		天保 七年	和州吉野郡梅元正治	横	—
甲	九一 二一 六	未下作地子帳		天保 六年	梅本臺所	横	—
甲	九一 二一 五	午下作地子帳		天保 五年	梅本正名代	横	—
甲	九一 二一 四	巳下作割付帳		天保 四年二月	正名代	横	—
甲	九一 二一 三	辰下作地子帳		天保 三年二月	正名代	横	—
甲	九一 二一 二	卯下作地子帳		天保 二年		横	—
甲	九一 二一 一	下作地子帳天保 曆歳		文政二年二月		横・以下四一 点一綴	—
甲	九一 一	〔仮整理メモ〕	自文政十二巳年十二月：			状	—
甲	九一 〇	〔くくりひも〕					—
甲	八一 二		宝暦六子…（明和三年迄金子支出覚）			横	—
甲	八一 一	〔仮整理メモ〕				状	—
甲	八一 〇	〔封筒〕					—
甲	七一 三	〔覚書〕	去ル天保七年…（勘定連に付き委細書 記）	文久 三年 六月二八日	梅本一学正治	横	—
甲	七一 二	勘定書抜帳 繪普請料請拂諸 二付田畑屋敷橋 天保七申年洪水				横	—
甲	七一 一	〔仮整理メモ〕				状	—
甲	七一 〇	〔封筒〕					—
甲	六一 二	〔表題欠〕	覚 一、喜歩…（婚礼入用書き上げカ）			横	—
甲	六一 一	〔仮整理メモ〕				状	—
甲	六一 〇	〔封筒〕					—
甲	五一 一 一 〇 一 三 〇	覚	一、金巻両也… 一、式勿巻分八り…	一〇月 二日	近江屋宗助↑上	状	—
甲	五一 一 一 〇 一 三 〇	覚		二月 一日	むらのや定七↓水口土佐	状	—
甲	五一 一 一 〇 一 二 九	覚	一、白晒九尺…	一〇月 三日	折鍵屋大次郎↓山口市兵衛様御取次御 用	状	—

甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲
九一 二一〇	九一 二一九	九一 二一八	九一 二一七	九一 二一六	九一 二一五	九一 二一四	九一 二一三	九一 二一二	九一 二一一	九一 二一〇	九一 二〇九	九一 二〇八	九一 二〇七	九一 二〇六
田畑小作地子帳	田畑小作地子帳	小作地子名前 小路 土田 東 川 丹生 桧垣 本 阿知賀各村 分	小作地子名前帳 小路 土田 東 川 丹生 桧垣 本 阿知賀各村 分	小作地子名前帳 小路 四村 土 田 東川 桧垣 本 阿知賀 丹 生 岩森各村分	辰下作地子帳 庄司 土田 岩 森 東川 桧垣 本 阿知賀 丹 生各村分	卯下作地子帳 庄司 土田 岩 森 東川 桧垣 本 阿知賀 丹 生各村分	寅下作并内作書 拔帳	丑下作地子帳	下作地子帳	亥下作帳	戌下作地子覚帳			
嘉永二年	嘉永一年二月	弘化四年二月	弘化三年二月	弘化二年二月	天保一五年	天保一四年	天保一三年	天保一二年	天保一一年	天保一〇年	天保九年			
梅本墓所	梅本墓所	梅本一学正治代	梅本一学正治代	梅本一学正治代	與一右衛門正治代当廿七才	與一右衛門正治代当廿六才	梅本墓所	小路村綾(カ)梅本一学代正治	御科庄司梅本墓所	梅本墓所	梅本墓所	梅本墓所	梅本墓所	梅本墓所
横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲
九一 二一三四	九一 二一三三	九一 二一三二	九一 二一三一	九一 二一三〇	九一 二一二九	九一 二一二八	九一 二一二七	九一 二一二六	九一 二一二五	九一 二一二四	九一 二一二三	九一 二一二二	九一 二一二一
垣本各村分 子帳 小路 松	文久三亥小作地 子帳	文久式戌小作地 子帳	文久元酉小作地 子帳	万延元申小作地 子帳 安政六未年地他 小作名前帳	安政五年地他 小作名前帳	安政四巳年自他 小作帳	安政三辰年自他 小作帳	安政二卯年自他 村小作帳	嘉永七寅年自他 小作帳	嘉永六丑小作地 子名前帳	嘉永五子小作地 子名前帳	亥田畑小作帳 小路村 阿知賀 松垣本 土田 東川各村分	自作とも嘉永三 戌年小作下地子 帳
文久 三年	文久 二年	文久 一年	万延 一年	安政 六年	安政 五年	安政 四年	安政 三年	安政 二年	嘉永 七年	嘉永 六年	嘉永 五年	嘉永 四年	嘉永 三年
梅本一学正治	梅本一学正治	梅本一学正治代	梅本一学正治代	梅本一学正治代	梅本一学正治代	梅本一学正治代	梅本一学正治	梅本一学正治代	梅本墓所	梅本執事	梅本執事	梅本正治代	梅本墓所
横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横	横
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

乙	乙	乙	乙	乙	乙	乙	乙	乙	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲
一一四一二	一一四一一	一一三一二	一一三一	一一二一二	一一二一一	一一二一二	一一一一	一一〇	九一二四一	九一二四〇	九一二三九	九一二三八	九一二三七	九一二三六	九一二三五	九一二三五
〔仮整理メモ〕	諸願書留帳	〔仮整理メモ〕	帳改 入一札并諸請書	〔仮整理メモ〕	諸事印形留	〔仮整理メモ〕	録扣帳 御学頭領歳々御 取納上納管済目	〔くりひも〕	村方地子帳 明治三四庚午稔	御領分二而梅本 持田畑屋敷小作 地子徴	御領分二而梅本 持田畑屋敷共	慶応四戊辰稔村 方小作地子徴 御領分二而梅本 持田畑屋敷共	慶応三丁卯年小 作地子帳 小路 村梅本持御田畑 屋敷共	小路村慶応武丙 寅年小作地子帳	小路村慶応元丑 稔小作地子帳	小路元治元子年 小作地子帖
	乍恐以書付奉願上候…		一札之事…		一、今度下市村堂垣内…											
	明和三年一月		安永六年七月		文政二年九月		明和六年		明治三年	明治二年	明治一年	慶応三年	慶応二年	慶応一年	元治一年	元治一年
			代官梅本與一右衛門正利		(正利代)		(梅本正利代)		梅本正治	梅本正治	梅本一学正治	梅本一学正治	梅本一学正治	梅本一学正治	梅本一学正治	梅本一学正治
状	堅	状	堅	状	堅	状	堅		横	横	横	横	横	横	横	横
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

乙	五十二	〔仮整理メモ〕				状	一
乙	五一	和州吉野郡小路村御検地帳		明和九年八月		豎	一
乙	四二	〔仮整理メモ〕				状	一
乙	四一	御学頭領御收納帳并小路村諸入用帳村下作帳		文政一年二月	代官梅本一学	豎	一
乙	三二	〔仮整理メモ〕				状	一
乙	三一	覚	(大坂御宮御修復手当金貸付所に関する京都触書に付き)	五月	飯貝村九右衛門↓小路村御役人中	状	一
乙	三一	御公用留帳		文化二年六月	小路村	豎	一
乙	二二	〔仮整理メモ〕				状	一
乙	二一	〔土地書上〕	沓番吉野郡小古田村領：(梅本家山林等)			豎	一
乙	一一	〔仮整理メモ〕				状	一
乙	一七	〔書簡〕	前文略 御免：	一〇月二九日	善城村宮岡政忠↓梅本正一	状	一
乙	一七	二月吉野郡小路村高引帳写				豎	一
乙	一六	〔仮整理メモ〕				状	一
乙	一六	〔返書〕	御申越之趣：	三月		状	一
乙	一六	〔宛所書上〕	前夕音御入来：	三月二〇日	前田伊二郎↓梅本与一右衛門	状	一
乙	一六	願扣	沓番：			豎	一
乙	一五	〔仮整理メモ〕				状	一
乙	一五	御地頭南都ヨ利所々役所書届扣	一、芝村御役所：	(明和五年)		豎	一

乙	六十一	小路村寛文年中 新御檢地出高御 余慶被為 仰付 候ニ付難洪明細 口上書		文化 五年 九月		堅	一
乙	六十二	〔仮整理メモ〕	(梅本家中行事)			堅	一
乙	七十一	諸用留		明和 五年 二月		堅	一
乙	七十二	〔仮整理メモ〕				狀	一
乙	八十一	御支配所之儀御 尋之筋ハ左之通 可奉言上候			吉野郡小路村	堅	一
乙	八十二	〔仮整理メモ〕				狀	一
乙	九十一	学頭所知行物成 勘定帳		天保 九年 一月	仮学頭代東南院	堅	一
乙	九十二	〔仮整理メモ〕				狀	一
乙	一〇一	寺社御奉行所江 差出配当由来書 并口上書御四分 惣代御願願書		天保 三年 二月	吉野郡小路村代官梅本与一右衛門所有	堅	一
乙	一〇二	〔仮整理メモ〕				狀	一
乙	一一一	小路村御檢地名 寄帳写		天保 二年 八月	筆者正治	堅	一
乙	一一二	〔仮整理メモ〕				狀	一
乙	一一〇	名(貼紙脱落) 帳高引帳相認候 子細書		正徳 三年		袋	一
乙	一一一	〔仮整理メモ〕				狀	三
乙	一一二	一、名寄帳高引 帳相認候節子細 御尋ニ付委細申 訳之口上書				堅	一

乙	二一—一	〔仮整理メモ〕		式番…	安永 六年 七月	梅本與一右衛門正利代	豎	—
乙	二一—二	日記		一様御儀明春御入寺…	安永 七年二月	梅本與一右衛門正利代	豎	—
乙	二一—三	日記				梅本正治	豎	—
乙	二一—四	安政二卯正月より同三辰年暮迄 日記記				梅本正治	豎	—
乙	二一—五	梅本丹下治所桂 山林字ところ大 西谷メ武ヶ所吉 野山吉田屋古藏 方江入質被致候 一件要書			安政三年一〇月六日、 二月三日	梅本一学、村組頭惣代権右衛門	豎	—
乙	二一—六	諸日記全				梅本与一右衛門	豎	—
乙	二一—七	粗月並記			天保 八年 八月	梅本正治	豎	—
乙	二一—八	日記			嘉永 三年、安政 一年 安政 五年、万延 一年	梅本一学正治	豎	—
丙	一	〔仮整理メモ〕					状	—
丙	二	〔仮整理メモ〕					状	—
丙	三	萬覚帳					横	—
丙	四	萬当座覚帳		(銀納年貢書上)	宝曆 一四年 一月 安永 四年 一月、 同五年 一月	梅本正方	横	—
丙	五	万当座附込帳		(勘定書上)	寛政 九年 一、二二月	梅本正利	横	—
丙	六	万当座附込覚帳		(勘定書上)	寛政 二年 一、二二月	莊司梅本正利	横	—
丙	七	当座附込帳		(勘定書上)	享和 二年 一、二二月	莊司梅本正利	横	—
丙	八	万当座附込帳		(勘定書上)	文政 二年 一月、 同三年 一月	梅本正利	横	—
丙	九	御公用村用留		(松茸山入用など)	弘化 二年、嘉永 五年	庄司村役人	横	—
丙	一〇	万当座附込覚帳		(勘定書上)	嘉永 二年 一、二二月	庄目屯梅本一学正治代	横	—
丙	一一—一	〔仮整理メモ〕					状	—
丙	一一—二	御用筋万留帳		(大和国吉野郡阿知賀飯貝北山御触書 写・御精進日など)	寛延 二年四月二十八日、 宝曆三年 六月二四日		横	—

丙	丙	丙	丙	丙
一五	一四	一三	一一 一 二	一一 一
万附込当座算帳	地質収納帳	当座附込帳	帳写 小路村領田畑山 林譲引入質役印	〔仮整理メモ〕
宝曆二年一〜二月	延享二年二月	安政三年	寛政三年〜明治五年	
		梅本正治	梅本一学正治	
横	横	横	横	状
—	—	—	—	—

Ⅲ 奈良県吉野郡下市町浄徳寺所蔵分

単位	組織番号	表題・柱書き	書き出し(内容)	年代	作成・宛所	形態	数量
い	〇	[箱]					一
い	一	念仏要集	集書記目録：(起請文などの写)	文久 四年 初春	山本利兵衛↓	縦	一
い	二	一流相伝之次第	夫我等宗旨：(真宗について幕府に説明)	元禄	糸野村紙屋武右衛門↓	縦	一
い	三―一	奉差上候御請書	一、先般追拂之儀：(非人村方にて養生に付き)	未―六月一九日	小路村年寄卯右衛門・同庄屋治右衛門↓御学頭代様御役所	状	一
い	三―二	乍恐書付ヲ以御詫奉申上候	一、先般非人病死ニ付：(非人控一件に付き)	未―六月一九日	梅本与一右衛門・梅本采女↓御学頭代様御役所	状	一
い	三―三	[言上書]	何国共知不申候近年身寄之非人：(入り込みの非人に付き)	天保 六年 五月 一日	小路村兼下市村下役六郎兵衛他行ニ付代弥吉↓小路村御役人中	状	一
い	四	覚	一、御領分中庄司村：(手折の非人の処置に付き)			綴	一
い	五―一		九合つ、正式三四五六：			状	一
い	五―二	[書簡]	一筆致啓上候：(先日十日覚欠落ニ付処置通知)			状	一
い	五―三―一		(五―二のコピー)			コピー	一
い	五―三―二		(五―二の筆写)			便箋	一
い	五―三―三	[文書コピー]	浄徳寺 御本坊：(役寺仰付)	巳―二月	常楽寺預役所↓浄徳寺	コピー	一
い	五―三―四		(五―三―三のコピー)			便箋	一
い	五―四		(五―一のコピー)			コピー	一
い	六	恵心院権僧止縁御初入記	触書 一、今般：(学頭職就任に付き)	天保一三年 九月	代官梅本正治代	縦	一
い	七	日光准后宮祿上洛記		天保一三年一〇月	地下人梅本与一右衛門正治	縦	一
い	八	山門恵心院前大僧正様御登山記三度目		嘉永 一年 九月一六日		縦	一
い	九	山門恵心院前大僧正様御初入記		天保 九年 九月	和州吉野郡小路村代官梅本正治	縦	一

ろ	ろ	ろ	ろ	ろ	ろ	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	
五	四	三	二	一	〇	一〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一〇	
浄徳寺法役日記	梅本家日記	国軸山金峰山寺 学頭所実城寺要 記写	御学頭吉野山初 入日記	万附込当座覚帳	〔箱〕	〔袋〕	触書	〔包紙カ〕	乍恐歎願奉差上 候	〔書簡〕	〔袋〕	申年棚前諸分寺 帳	恵心院前大僧正 様御初登山	国軸山金峰山寺 学頭所実城寺要 記写	日光宮様御上洛 梅本両家上京諸 用留	
(滝上寺・小路村之誓状控)	(梅本家来歴ニ付き)		(恵心院権僧正様初入ニ付き)	已正月:	梅本家門長屋再建諸用書	当山学頭之儀今般: 被仰付候ニ付き)	日光御宮様御上洛記: 御赦免願)	(梅本一学与丹下山林異論ニ付き一学他一統 御救免願)	先達而被申聞候: 被仰付候ニ付き)	大切之書物也: (分家本家山論関係書類)	(村かし銭など覚書)	(初登山式次第)		一、其方共此度: (日光御門主御家来分実城 寺付地下人ニ被仰出候ニ付き)		
宝曆二年一月	嘉永一年九月	文化四年	宝曆二年一月	寛政三年一月	安政五年四月三日	天保	安政三年五月〇日	天明六年七月二七日	(安政三年)	(安政六年九月八日) 九月二日)	嘉永一年九月	天明六年八月	文久二年五月			
	御料庄司末「重」梅本一学源正治	梅本正利同正意代	梅本氏正方		学頭代↓小路村地下人中	梅本与一右衛門	庄屋利兵衛・年寄太右衛門ほか十五名↓御学 頭代役所	仏頂院↓恵心院前大僧正				学頭↓梅本与一右衛門・梅本九八郎	梅本一学正治			
豎	豎	豎	豎	横		状・包紙あり	状	状	状	状・包紙あり		横	豎	ロビー・豎	状・包紙あり	豎
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	ろ	ろ		ろ	ろ
二	一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	九	八		七	六
[包紙]	[包紙]	[包紙]	奈良教区吉野北 組浄徳寺明細帳	財産目録 資産 台帳 負債台帳				[断簡]	御伝絵図解 上	御伝絵図解 下カ)	寄附簿 興隆社会場建設	吉野山御学頭領 収納勘定帳	吉野山御学頭領 収納勘定帳		吉野山御学頭領 収納勘定帳	吉野山御学頭領 収納勘定帳
和州浄徳寺…	和州小路村浄徳寺…	奈良吉野北組…		(梅元山法宝物及什器帳・宝物台帳)	寺務釈鏡如…(本願寺前住明如画像)	大和国吉野組浄徳寺門徒中…(御真筆授与に 付き)	浄徳寺 御本坊役寺被仰付…	文政十二己丑年七月廿三日ヨリ留守居…								
			(明治三四年 三月二十五日調整)	昭和十五年 八月 六日	明治三四年一月一日	明治三四年一月二日	巳一二月				明治三二年	宝暦一〇年二月	宝暦一一年二月		宝暦九年一月七日	宝暦一二年 二月
横田内膳↓浄徳寺	池水外記↓浄徳寺	↓浄徳寺門徒中		浄徳寺		本山執行所↓	常楽寺殿役所↓	(同上カ)		皇都書林丁子屋庄兵衛ほか三名	和南					
			豎	豎	状	状	状	状	版本	版本	豎	横	横		横	横
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		一	一

は	一八			今度 信暁院様：(御影御免に付き)	昭和 七年 三月二日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺	状	一
は	一七	覚	本願寺末流和州：(御簾四枚寄進に付き)	明和 四年 二月 二月六日	南山院相模法眼・松本能登守↓浄徳寺梅本一学	状・包紙あり	一	
は	一六	[包紙]	御簾御寄附状	明和 四年 二月	下間少進法印↓和州惣道浄徳寺	状	一	
は	一五	口上書	今度御簾四枚浄徳寺江：(御簾四枚寄附書付頂戴願に付き)	(明和 四年)二月	梅本一学↓南山院相模法眼・松本能登守	状	一	
は	一四一四	覚	西本願寺末和州：(簾四枚寄附)	明和 四年 二月	植松前宰相殿雑掌・愛宕三位殿家上山主税↓浄徳寺梅本一学	折紙	一	
は	一四一三	覚	西本願寺末和州：(御簾四枚寄進)	明和 四年 二月	植松前宰相殿雑掌・愛宕三位殿家上山主税↓浄徳寺梅本一学	状	一	
は	一四一二	覚	本願寺末流和州：(御簾四枚寄進)	明和 四年 二月	南山院相模法眼・松本能登守↓浄徳寺梅本一学	状	一	
は	一四一一	[包紙]			植松殿雑掌↓浄徳寺梅本一学	状	一	
は	一三一三	證	一、前任上人御影：(冥加金貳拾貳円受取)	昭和 九年 四月 九日	至心山別格願行寺↓浄徳寺門徒中	状	一	
は	一三一二	記		明治四三年 四月 九日	本山受納所↓大和国吉野郡下市町浄徳寺	状	一	
は	一三一〇	證	一、金貳円六拾五錢也(太子講懇志受取)	昭和 二年 五月 一日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺門徒中	状・包紙あり	一	
は	一三一〇	御慶祝御邸宅懇志		昭和 二年 四月 一六日	吉野山太子講↓小路村浄徳寺門徒中	状	一	
は	一三一〇			昭和 三年 四月 一六日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺門徒中	状	一	
は	一三一〇			昭和 四年 一月 一五日	吉野郡吉野村飯貝別格別院本善寺↓浄徳寺御門徒中	状	一	
は	一三一八	證	御正忌志 一、貳円參拾錢：(進物受取)	昭和 四年 一月 一五日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺門徒中	状	一	
は	一三一七	總会所建築志	松材一本 代金貳拾貳円也：(進物受取)	明治三四年 二月 一八日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺門徒中	状	一	
は	一三一七	總会所建築志	松材一本 代金四拾貳円也：(進物受取)	明治三四年 二月 一八日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺門徒中	状	一	
は	一三一六	[受取状]	金五円也：(進物受取)	昭和 四年 四月 二日	本山内日野別堂改築事務所↓奈良吉野北組浄徳寺門徒中	状	一	
は	一三一五	志	金貳円也：(進物受取)	昭和 二年 五月 一日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺	状	一	
は	一三一四	忌御香儀	金拾五円也：(進物受取)	昭和 八年 八月 五日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺門徒中	状	一	
は	一三一三	忌御香儀	金四拾五円也：(進物受取)	昭和 二年 五月 六日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺門徒中	状	一	
は	一三一三	明如上人廿五回		昭和 二年 五月 六日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺門徒中	状	一	
は	一三一二	伝灯奉告会志	金參拾貳円也：(進物受取)	昭和 七年 三月 二日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺門徒中	状	一	
は	一三一二	伝灯奉告会志	金貳円也：(進物受取)	昭和 七年 三月 二日	本山受納所↓奈良吉野北組浄徳寺	状	一	

は	三〇	[受取状]	御影并国絹袷姿…(下付の謝礼の受取状)	二月 六日	上田主殿↓和州浄徳寺	状	一
は	二九	[添状]	四番形明如上人御影一幅…(御影授与に付き)	明治四二年 四月	執行所↓奈良県吉野郡下市村浄徳寺	状	一
は	二八	[書簡]	尊書被成下…(御影・国絹袷姿願に付き)	二月 一三日	大野豊蔵↓瀧上寺・御侍者中	状	一
は	二七	本願寺連如画像	(画像裏書カ)	明治 七年 二月 五日	寺務釈夫尊↓奈良県浄徳寺物	状	一
は	二六	本願寺前住広如画像	(画像裏書カ)	明治 七年 二月 五日	寺務釈夫尊↓奈良県浄徳寺物	状	一
は	二五	[書簡]	御札令披見候…(浄徳寺願之儀に付き本願寺坊官書状)	二月 一三日	下間宮内郷法眼仲矩↓和州瀧上寺	状	一
は	二四一三	本仏尊形	(本尊裏書カ)	元禄 七年 八月 一〇日	釈寂如↓願行寺門弟瀧上寺下和州吉野郡小路惣道場浄徳寺	状	一
は	二四一二	木仏尊形	(本尊裏書カ)	元禄 五年 二月 一〇日	釈寂如↓常楽寺門弟和州吉野郡下市願主釈慶之右・釈祐誓・釈尼妙誓	状	一
は	二四一	[包紙]	木仏尊号	元禄 七年 一〇月 三日	取次監物↓願行寺門徒瀧上寺殿下和州吉野郡小路村惣道場浄徳寺	状	一
は	二三三	大谷本願寺親鸞聖人	(親鸞御影裏書カ)		釈寂如↓	状	一
は	二三一四	[御免状]	願行寺殿門徒…(二代無金地合唐草輪袷姿免許)	天保 一四年 二月 五日	取次嶋田左兵衛権大尉↓願行寺殿門徒瀧上寺殿下大和吉野郡小路村惣道場浄徳寺看坊象鑑	状	一
は	二三一三	[御免状]	願行寺殿門徒…(二代緋子衣等御免)	天保 一四年 二月 五日	取次嶋田左兵衛権大尉↓願行寺殿門徒瀧上寺殿下大和吉野郡小路村惣道場浄徳寺看坊象鑑	状	一
は	二三一二	[御免状]	願行寺殿門徒…(二代青袷姿等御免)	天保 一四年 二月 五日	嶋田左兵衛権大尉↓願行寺殿門徒瀧上寺殿下大和吉野郡小路村惣道場浄徳寺看坊象鑑・門徒中	状	一
は	二二一	[包紙]	願行寺殿門徒…		嶋田左兵衛権大尉↓願行寺殿門徒瀧上寺殿下大和吉野郡小路村惣道場浄徳寺看坊象鑑・門徒中	状・包紙あり	一
は	二二	[御免状]	端書無之…(自剃刀・宥住御免)	天保 一四年 二月 五日	嶋田左兵衛権大尉正辰↓願行寺殿門徒瀧上寺殿下大和吉野郡小路村惣道場浄徳寺看坊象鑑	状・包紙あり	一
は	二〇		今度 御伝抄願之通…(伝授常楽寺へ被仰付)	弘化 二年 九月 一六日	池永大隅介↓大和国吉野郡小路村惣道場浄徳寺看坊象(象カ)鑑	状・包紙あり	一
は	一九	免与 絹袷姿	願行寺門徒…(絹袷姿免許に付き)	宝暦 六年 二月 五日	上田主殿↓惣道場浄徳寺	状	一

は	三二	〔授与状〕	奈良県吉野郡：(明如御影授与)	明治四三年	本山執行所↓浄徳寺	状	一
は	三三	六品許状	六品御願：(佛室など六品許可願い)	明治二四年	浄徳寺兼任職宇野慧院ほか総代三名↓本山執行長大洲鉄然	綴・包紙あり	二
は	三四	〔授与状〕	奈良県吉野郡：(広如御影授与)	明治三五年二月一〇日	本山執行所↓浄徳寺	状	一
は	三五	覚	一、銀百五拾目：(冥加料寺納の請取)	子一二月二日	藤谷山瀧上寺↓小路村浄徳寺・惣門徒中	状・包紙あり	一
は	三六	御装書云	本願寺前住湛如：(像下付に付き)	宝曆六年二月三日	釈法如↓惣道場浄徳寺	状	一
は	三七	〔書簡〕	旧臘廿七日之實札早速：(願行寺用番等に付き)	一月一日	大野豊蔵↓梅本与一右衛門	状	一
は	三八	点検状	大和国吉野郡下市町浄徳寺従物：	明治三年五月八日	寛覽会委員長水原茲音↓	状	一
は	三九	〔授与状〕	奈良県吉野郡：(運如御影授与)	明治三五年一月一〇日	本山執行所↓浄徳寺	状	一
は	四〇	算用書	御本人入用：(本料等人用に付き)	二月五日	上田主殿芳辰↓瀧上寺	状	一
は	四一	〔書簡〕	御札致拝見候然者貴寺：(浄徳寺へ御影など願に付き)	二月五日	本山受納所↓浄徳寺門徒中	状	一
は	四二	記	一、御絵伝 双幅：(冥加受納に付き)	明治四一年三月二三日	本山執行所↓	状	一
は	四三		大和国吉野郡：(御絵伝授与に付き)	明治四三年三月二三日	本山執行所↓	状	一
は	四四		本願寺前住湛如：(画像書上カ)	明治四三年三月二三日	本山執行所↓	状	一
は	四五		端書無之：(太子七高僧御影裏判形に付き)	享保六年八月二七日	横田内膳↓小路村惣道場浄徳寺	状	一
は	四六	御伝書 御免状	端書無之：(御開山様御影等裏判形に付き)	享保九年六月八日	池水外記↓小路村惣道場浄徳寺	状	一
は	四七	〔包紙〕	今般御伝抄：	弘化二年九月	常楽台内木村城助↓浄徳寺看坊象鑑	状・包紙あり	一
に	〇	〔箱〕	運如上人黒衣御影御裏書			箱	一
に	一	浄徳寺法物仏器 什器持流地取調 帳		大正四年九月六日		横	一
に	二	寄贈証書	(追善御経料として)	昭和五年四月五日	西本秀一↓浄徳寺	綴	一
に	三	〔通達〕	下席第六五九号(寺院仏堂教会ニ関スル調査ノ件)	大正二一年五月一日	下市町役場	ガリ版・綴	一
に	四		一、棟札一枚：(宝物台帳等遠書案)			ガリ版・状	一
に	五		一、真徳(カ)火鉢 一对：(什器等書上)			横	一

ほ	ほ	に	に	に	に	に	に	に	に	に	に	に
二	一	二五	二四	二三	三二	二二	二〇	一九	一八	一七	一六	一五
法役日記	宝曆式年浄徳寺	浄徳寺参考資料	〔紙小片〕 成メモ	〔梅本家系図作 日校開設…〕	徳寺檀家住所取 調書	檀家総代証明願 本山届出ニ付浄 徳寺	〔法名書〕	〔法名書〕	麦茶志納帳 浄徳寺御供米納 入名簿	農地買受申込書	農地買受申込書	法宝物及什器台 帳
(ろー五のコピー)		歩					文化十三年…(高取御家中西嶋源左衛門戒名 写)					
	昭和五九年 三月			(大正 五年)二月	昭和 七年一〇月二二日 明治四一年	(文化二年)	文化一三年 八月 八日	(昭和三年)同三〇年	昭和二七年 一月二〇日	昭和二年 三月 六日	昭和二年 三月 六日	昭和一五年 八月 六日
	釈惠亮				下市町大字善城宇野恵空↓下市町長藤村市助				浄徳寺寺役曾和清太郎・滝本勇太郎	町農地委員会 下市町大字小路四六八番地瀧本芳太郎↓下市	町農地委員会 下市町大字小路四六八番地瀧本芳太郎↓下市	梅元山浄徳寺
コピー・豎	豎		状	豎	状	綴	状	横	横	状	状	豎
一	一	一	二六	一	一	一五	一	一	一	一	一	一

(小路村十四日講中所蔵分)

十	一〇	十四日講諸控		(元文五年 八月)	小路村十四日講中	横	一
十	一一	十四日講人数		元文「」八月		横	一
十	一二	十四日講若寄中 〔以下欠〕		寛政 四年二月		横	一
十	一三	十四日講諸用記 〔二冊〕		天保 八年二月	莊司村十四日講中	横	一
十	一四	十四日講諸用記 〔三冊〕		文久 二年二月	小路邑十四日講中	横	一
十	一五	十四日講諸用記 第四号		大正 三年 一月二四日	下市町小路邑	横	一
十	二	十四日講諸用記 五冊目		昭和一八年 一月二四日		横	一
十	三	十四日講諸用記 六冊目		昭和四六年		横	一